

地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ/Google TV AP245GL



取扱説明書

もくじ 2

はじめに 3

準備 15

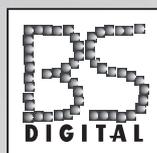
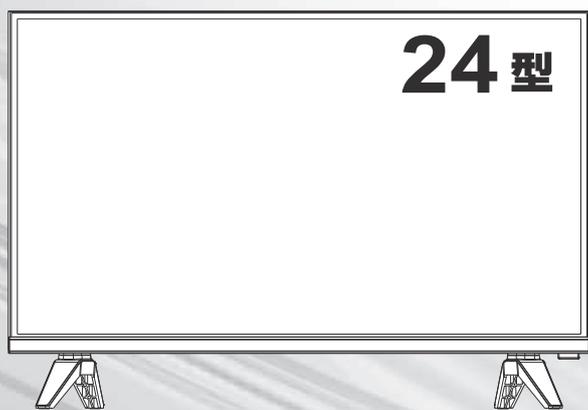
Google TVを見る.. 40

テレビを見る 47

録画、再生、予約をする..... 54

設定 66

その他 78



このたびは液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、液晶テレビをご使用前に必ずお読みいただき正しくお使いください。

■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

目次

はじめに 3

安全上のご注意.....	4
警告（移動、設置）.....	4
警告（電源コード・プラグ）.....	6
警告（使用）.....	7
警告（電池）.....	7
注意.....	8
注意（電池）.....	9
注意（廃棄）.....	9
使用上のご注意・お手入れについて.....	10
付属品を確認する.....	14

準備 15

各部の名前.....	16
本体操作部.....	16
本体接続部.....	17
リモコン.....	18
リモコンについて.....	20
設置のしかた.....	21
設置の手順.....	21
スタンドをつける.....	22
壁掛け金具で取り付ける.....	23
miniB-CASカードを入れる.....	24
アンテナの接続.....	25
UHFアンテナを接続する.....	25
BS/110度CS共用アンテナを接続する注意.....	26
マンションなどの共聴システムで接続する.....	26
インターネットへの接続.....	27
電源コードの接続.....	28
接続する.....	28
電源に関するご注意.....	28
他の機器との接続.....	29
USBハードディスクを接続する.....	29
ヘッドホンを接続する.....	29
DVDプレーヤーなどを接続する.....	30
パソコンを接続する.....	32
光デジタルケーブルでAVアンプなどを接続する.....	33
HDMIケーブルでAVアンプなどに接続する(ARC機能).....	33
HDMI連動【CEC】対応機器と接続する.....	34
Bluetooth機器を接続する.....	34
初期設定をする.....	35
初期設定について.....	35
初期設定.....	36

Google TVを見る..... 40

Google TVのホーム画面.....	41
リモコンのマイクを使う.....	43
設定する.....	44
文字を入力する.....	45
メディアプレーヤを使用する.....	46

テレビを見る..... 47

テレビ番組を楽しむ.....	48
入力切替メニューを使う.....	49
便利な機能を使う.....	50
番組表を見る.....	52
データ放送を楽しむ.....	53

録画、再生、予約をする 54

録画・予約機能について.....	55
録画用USBハードディスクの接続をする..	56
録画機能について.....	58
録画・予約をする.....	59
予約・録画の優先順位と予約の動作について	63
録画した番組を再生する.....	64

設定 66

テレビの設定をする.....	67
本体の設定をする.....	71

その他 78

故障かな?と思ったら.....	79
主な仕様.....	84
保証とアフターサービス.....	裏表紙

はじめに

本製品をご使用になる前に下記の「安全上のご注意」、「使用上のご注意・お手入れについて」を必ずよく読み、正しくお使いください。

	ページ
安全上のご注意	4
使用上のご注意・お手入れについて	11
付属品を確認する	14

● 安全上のご注意

ご使用の前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。

	警告	この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。
---	-----------	---

	注意	この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。
---	-----------	--

図記号の意味 (例)



気をつけていただきたいという記号です。



してはいけないという記号です。



していただきたいという記号です。

警告 (移動、設置)

正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

運搬 / 移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどを全てはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・棚や押入の中に置かない。
- ・ホットカーペットの上に置かない。
- ・布をかけない。

⚠ 警告（移動、設置）（つづき）

⚠ 周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けずに設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。

- ・上部 :30 cm
- ・左右 :10 cm
- ・下部 :10 cm（壁掛けの場合）
- ・背面 :6 cm

⚠ 壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に付けてもらう

⊘ 設置時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の方が取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

⚠ スタンドを正しく取り付け、転倒防止の処置を必ず行う

スタンドは本書にしたがって正しく取り付けてください。また、スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。

⊘ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。

⊘ 乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

⊘ 湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

⊘ 本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

⊘ 屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

⊘ 水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。

⊘ 本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かず本機に触れると、感電の原因になることがあります。

⊘ 目や口に液晶を入れない / ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをします。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭いがかぐこともやめてください。誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

安全上のご注意 (つづき)

おまかせ

警告 (電源コード・プラグ)

 コンセントや配線機器の定格を超える使用いかたや、交流 100V (50/60Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線) 交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

 電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。

 ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

 電源プラグをつなぐのは、電源コードを本機につないでから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差し込んでください。

 電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

 お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

 めれた手で電源プラグにさわらない

めれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。

 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

 他の電源コードを本製品に使用したり、付属の電源コードを他の商品に使用しない。

火災・感電・ショートの原因となります。

警告（使用）



本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



煙やにおい、音などの異常が発生したら、 本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。



内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水が異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

警告（電池）



電池を火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池はプラスとマイナスの向きに注意し、 機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)



注意



お手入れのときや、旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。



人が通行するような場所に置かない・コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店で依頼ください。

 **注意（電池）** **指定された種類の電池を使用する**

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

 **電池は幼児の手の届くところに置かない**

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

 **電池の液がもれたときは素手でさわらない**

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に霜害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

 **廃棄するときは**

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

 **注意（廃棄）** **一般の廃棄物と一緒にしない**

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

 **家電リサイクル法に従って廃棄する**

家電リサイクル法の規定により、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村などの自治体に適正に引き渡すことが求められています。

詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会 家電リサイクル券センターまでお願いいたします。

電話：（フリーダイヤル）0120-319640

ホームページ（URL）:

http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p_procedure.html

● 使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続して表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなる場合がありますが、故障ではありません。

輝点・減点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（減点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局からのメール・番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録できなかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認ください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、ふきとった後、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。

● 使用上のご注意・お手入れについて (つづき)

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

miniB-CAS カードは必要なときだけ抜き差ししてください

- 必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。
- miniB-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないように挿入してください。

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押ししたり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周辺温度は 0 ~ 35℃ の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

映像や音声の遅れについて

- テレビ放送や外部入力ソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

USB ハードディスクについて

- USB ハードディスクを本機に正しく接続してください。正しく接続されていないと、本機では USB ハードディスクの登録ができません。またハードディスクを破損するおそれがあります。
- 動作中は、テレビ本体、または本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスクの故障の原因となります。

使用上のご注意・お手入れについて (つづき)

無線通信の利用について

2.4GHz 帯 利用注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びに アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、又は電波の発射を停止した上、弊社サービス/コールセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービス/コールセンターへお問い合わせください。

5GHz 帯 利用注意事項

5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の無線 LAN の屋外利用は禁止されています。

(5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除きます。)

電波法に基づく認証について

本製品内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線装置として認証を受けています。

認証番号は無線設備上に表示されているため、本製品を使用する際に無線局の免許は必要ありません。

内蔵無線装置 工事設計認証番号



R 219-239184

以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因し、電波法に抵触する問題が生じた際、これによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- ・本機内蔵の無線装置を分解 / 改造すること
- ・表示された認証番号を剥がしたり識別不可能にすること

● 使用上のご注意・お手入れについて (つづき)

商標・ライセンス

- Google TV、OK Google、YouTube、Google Cast、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- 本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。



コンテンツおよびサービスについて

- 本製品から得られるすべてのコンテンツおよびサービスは、著作権および特許権、商標権、その他知的財産権に関わる法律により保護されています。
コンテンツおよびサービスは非営利目的でのみご利用ください。また、コンテンツおよびサービスの所有者ならびに提供者に無断で許可なく利用することはできません。
- 利用者、またはその他の事業者が本製品を通じてサービス、コンテンツ、情報、その他事業者のソフトウェアにアクセスしたことによる直接的、間接的、偶発的な損失や損害について当社は一切の責任を負いかねます。
- 提供されるサービスまたはコンテンツについて、サービスの提供者またはコンテンツの所有者により予告なく変更および削除、停止される場合があります。
当社は当該サービスまたはコンテンツが継続的に利用可能であることを保証しかねます。また、当該サービスまたはコンテンツに関する一切の責任を負いかねます。
提供される各サービスまたはコンテンツにおいての問題または要望については、それらの提供者へお問い合わせください。

● 付属品を確認する

本製品をご使用になる前に、以下の物が全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損している場合は、販売店、サービス/コールセンター (TEL: 0570-021-051) までご連絡ください。



取扱説明書 × 1部



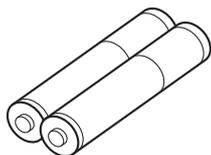
ファーストステップガイド × 1部



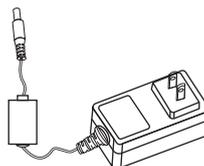
保証書 × 1部



リモコン × 1台



リモコン用乾電池 × 2 (単4形)

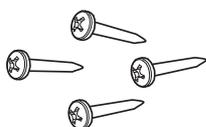


ACアダプター × 1台

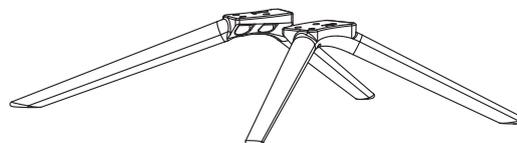


miniB-CAS カード × 1枚

スタンダード式



スタンド取り付け用ネジ × 4本



スタンド × 2本

準備

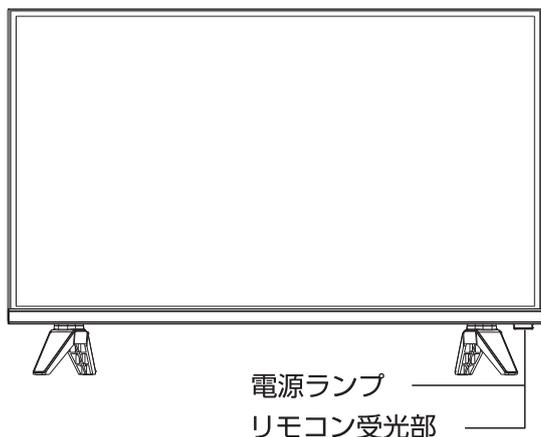
「準備」の項目はテレビをお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、miniB-CASカード挿入方法、本製品の各部の名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

	ページ
各部の名前	16
リモコンについて.....	20
設置のしかた	21
アンテナの接続	25
インターネットへの接続.....	27
電源コードの接続	28
他の機器との接続	29
初期設定をする	35

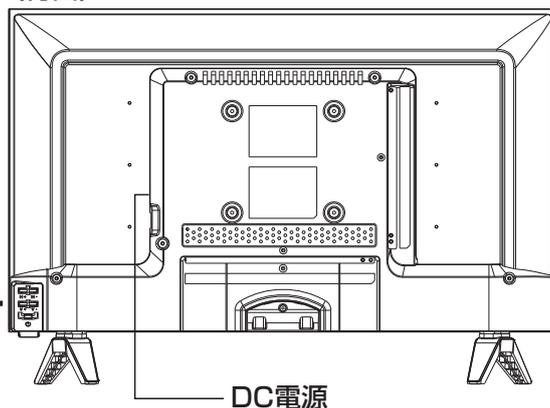
各部の名前

本体操作部

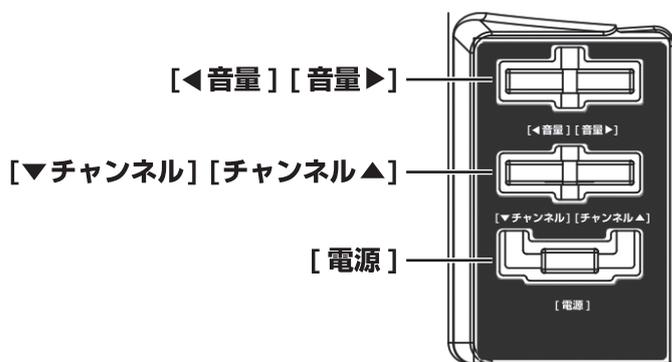
(正面)



(背面)



(本体SW部)



[音量 ◀▶]

スピーカー（またはヘッドホン）からの音量調整を行います。

[チャンネル▲▼]

チャンネルの順送り/逆戻しによる選局を行います。

お知らせ

- メニュー表示中に以下のボタンを押すと、メニューの操作ができます。

[チャンネル▲▼]: 上下の移動を行います。

[音量 ◀▶]: 左右の移動を行います。

[電源]

電源オフ・スタンバイ状態で一回押すと電源オン
電源オン状態で長押しすると電源オフ

お知らせ

- 電源オン状態で一回押すとメニューを表示します。
チャンネル、音量でメニューを移動して、電源ボタンで項目を決定します。

⚠️ ご注意

- スタンバイのときでも微弱な電流が流れるため、電力を消費し続けます。旅行など、本機を長時間使用しない場合で、録画予約をしていないときは、AC電源のプラグを抜いてください。

お知らせ

- 電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

スタンバイ:

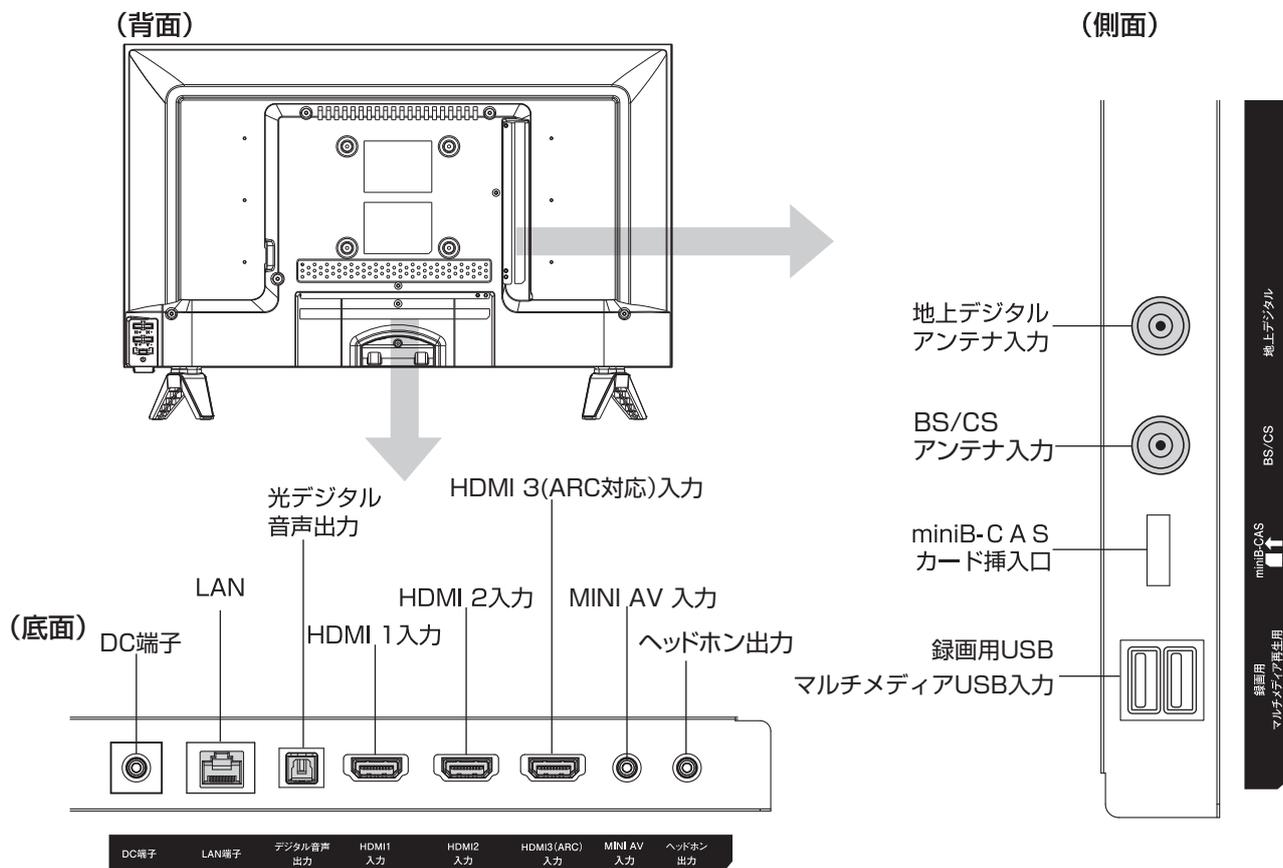
赤

電源オン:

不点灯

各部の名前 (つづき)

本体接続部



(底面)

DC 端子

DC 12V電源入力。

LAN端子

データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 1 入力

市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 2 入力

市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 3(ARC対応)入力

市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。(P.33ページ)

MINI AV 入力

市販のAVケーブルを使用して対応機器を接続します。

ヘッドホン出力

ヘッドホンと接続します。

(側面)

録画用 USB

市販のUSBハードディスクを接続します。

マルチメディアUSB入力

写真、音楽、動画の入ったUSBハードディスクを接続します。

miniB-CAS カード挿入口

miniB-CASカードを挿入します。

BS/CSアンテナ入力

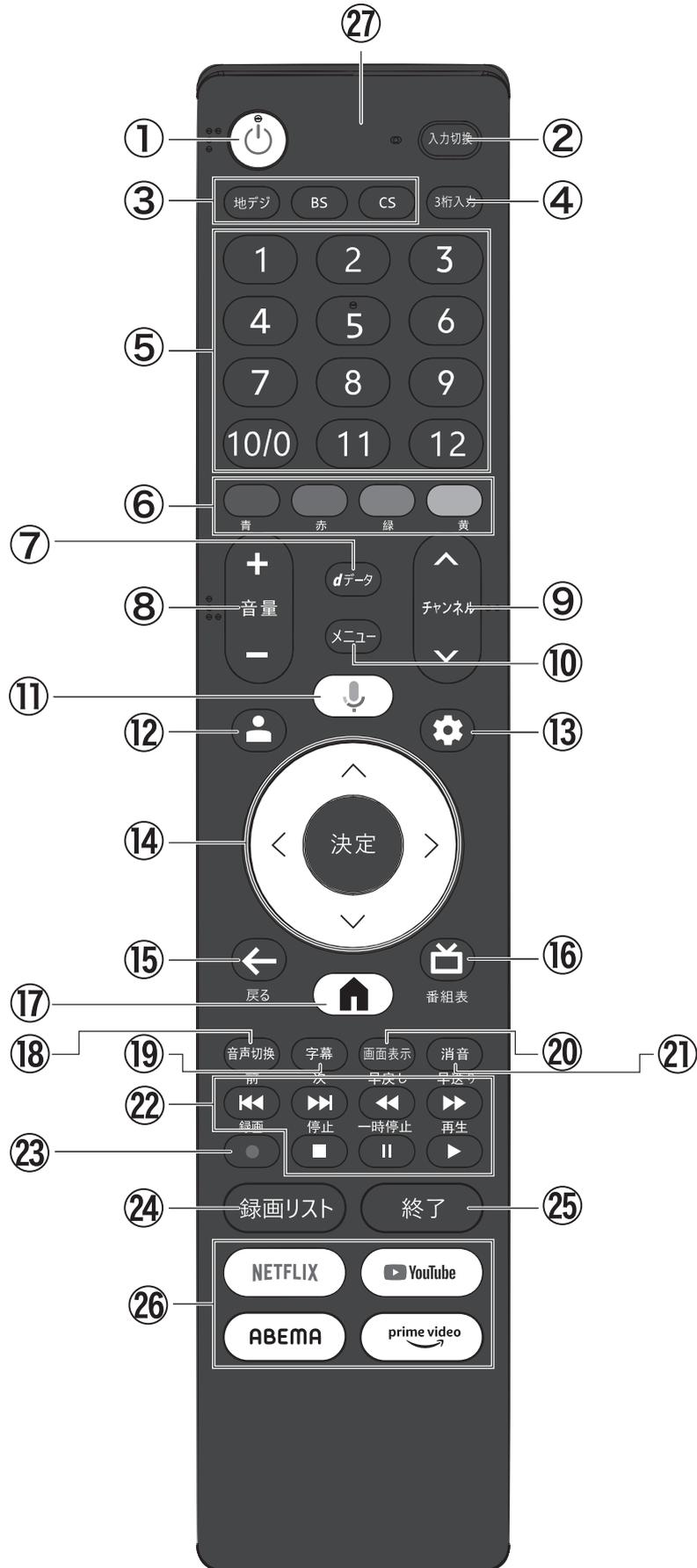
アンテナケーブルを使用してBS・110度CSアンテナを接続します。

地上デジタルアンテナ入力

アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを接続します。

● 各部の名前 (つづき)

リモコン



各部の名前 (つづき)

リモコン (つづき)

- ① **電源**
電源オン / スタンバイを切り替えます。長押しするとシャットダウンメニューが表示されます。
- ② **入力切換**
入力切換メニューを表示します
- ③ **地デジ・BS・CS**
視聴する放送を切り替えます。
- ④ **3桁入力**
3桁の番号を入力してチャンネルを切り替えます。
- ⑤ **1~12テンキー**
チャンネル選局や、数字を入力するときに使用します。
- ⑥ **カラーボタン(青、赤、緑、黄)**
データ放送やメニュー選択時に使用します。
- ⑦ **dデータ**
データ放送を表示します。
- ⑧ **音量**
音量を変更します。
- ⑨ **チャンネル**
チャンネルを変更します。
- ⑩ **メニュー(ツール)**
テレビ放送や外部入力の設定メニューなどを表示します。
- ⑪ **Google アシスタント**
リモコンに話しかけて、声でテレビを操作できます。
- ⑫ **Google アカウント**
Google アカウントを登録 / 変更するときに使用します。
- ⑬ **設定(ダッシュボード)**
システムからの通知や設定メニューを表示します。
- ⑭ **▲▼◀▶ 決定**
カーソルの選択、決定に使用します。
- ⑮ **戻る**
メニュー操作中に前の項目に戻ります。
- ⑯ **番組表**
番組表を表示します。
- ⑰ **ホーム**
Google TV™ のホームメニューを表示します。
- ⑱ **音声切換**
音声多重放送の音声を切り替えます。
- ⑲ **字幕**
字幕表示のオンオフをします。
- ⑳ **画面表示**
現在視聴している番組の情報や現在時刻を表示します。
- ㉑ **消音**
音量を一時的に0にします。
- ㉒ **再生コントロール**
録画した番組の再生・一時停止・早送り早戻しをコントロールします。
- ㉓ **録画**
現在視聴中の番組を録画します。
- ㉔ **録画リスト**
録画した番組のリストを表示します。
- ㉕ **終了**
メニュー・アプリ・設定を閉じ、テレビ放送視聴 (Live TV アプリ) に戻ります。
- ㉖ **VODダイレクトボタン**
ボタンに登録されている VOD アプリを開きます。
- ㉗ **インジケータ LED、マイク**
リモコン操作中に点灯、点滅します。音声検索機能を使用するにはこちらに向かって話かけます。

● リモコンについて

電池の入れ方

- ① 電池カバーを開ける
- ② + 極、- 極の向きを確認し、正しい方向で単 4 電池の 1 本目を入れる
- ③ 続けて同様に 2 本目の電池を入れ、電池カバーがカチッというまで押して閉める

⚠️ ご注意

電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした電池は使用しない。

漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

お知らせ

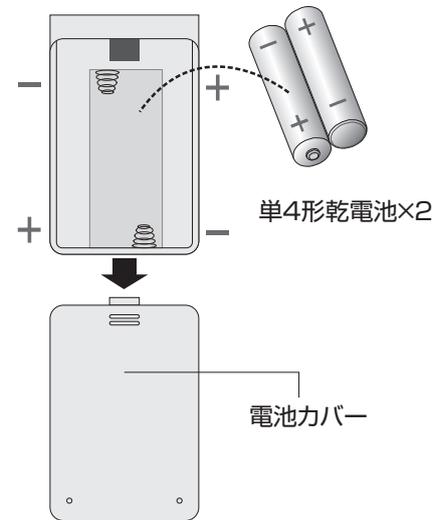
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

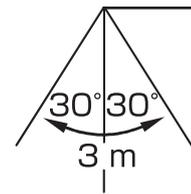
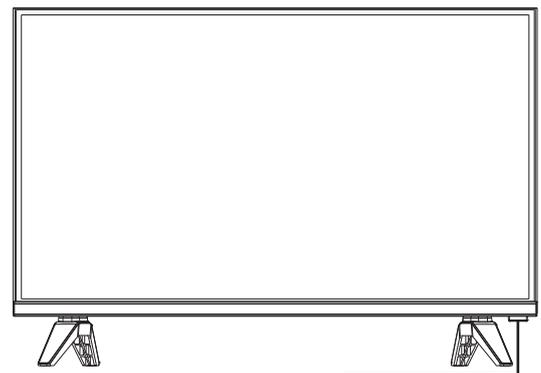
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

⚠️ ご注意

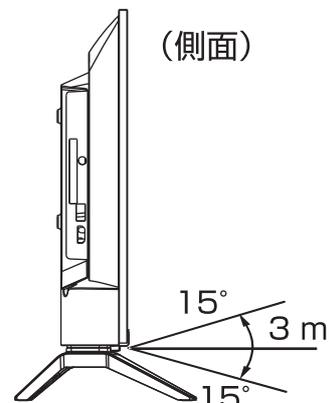
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなることがあります。その場合は照明または本体の向きを変えるか、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池と交換してください。



(正面)



(側面)



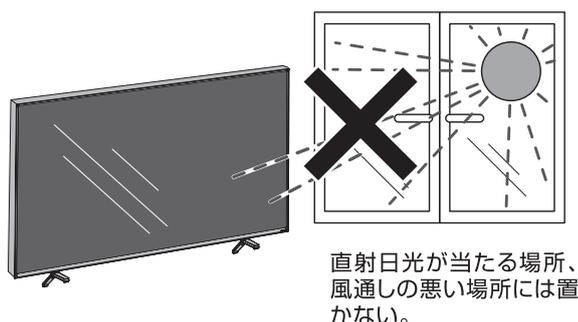
● 設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、水平で安定した場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置の手順

1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。



2 スタンドをつける

● (P. 22 ページ)

⚠️ ご注意

- 壁掛けの設置をする場合以外は、スタンドを外さないでください。
- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

3 配置する

⚠️ ご注意

- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

4 転倒防止策を実施する

市販の転倒防止器具を使って転倒防止策を実施してください。

⚠️ ご注意

- 本機が転倒するとお客様のけがや本機の故障につながります。必ず転倒防止策を行ってください。
- 上記の方法で本機の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

壁に掛けるとき

本機を市販の壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることもできます。

テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴を使用します。
(P. 23 ページ)

⚠️ ご注意

- 壁に掛ける際は、必ずお買い上げ店または工事業者に依頼ください。

通風孔について

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所(棚や押入れの中など)や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。

● 設置のしかた (つづき)

スタンドをつける

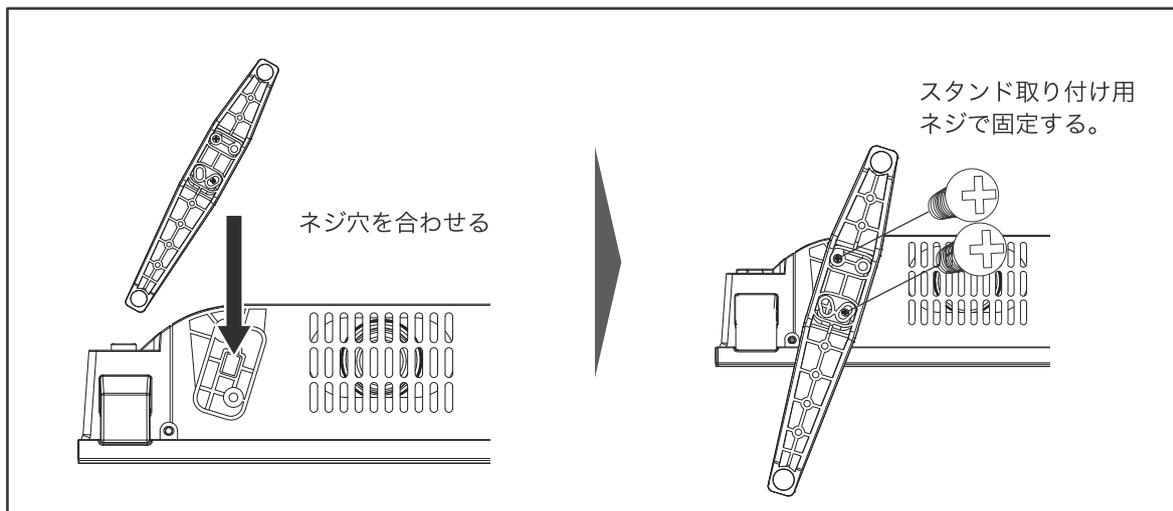
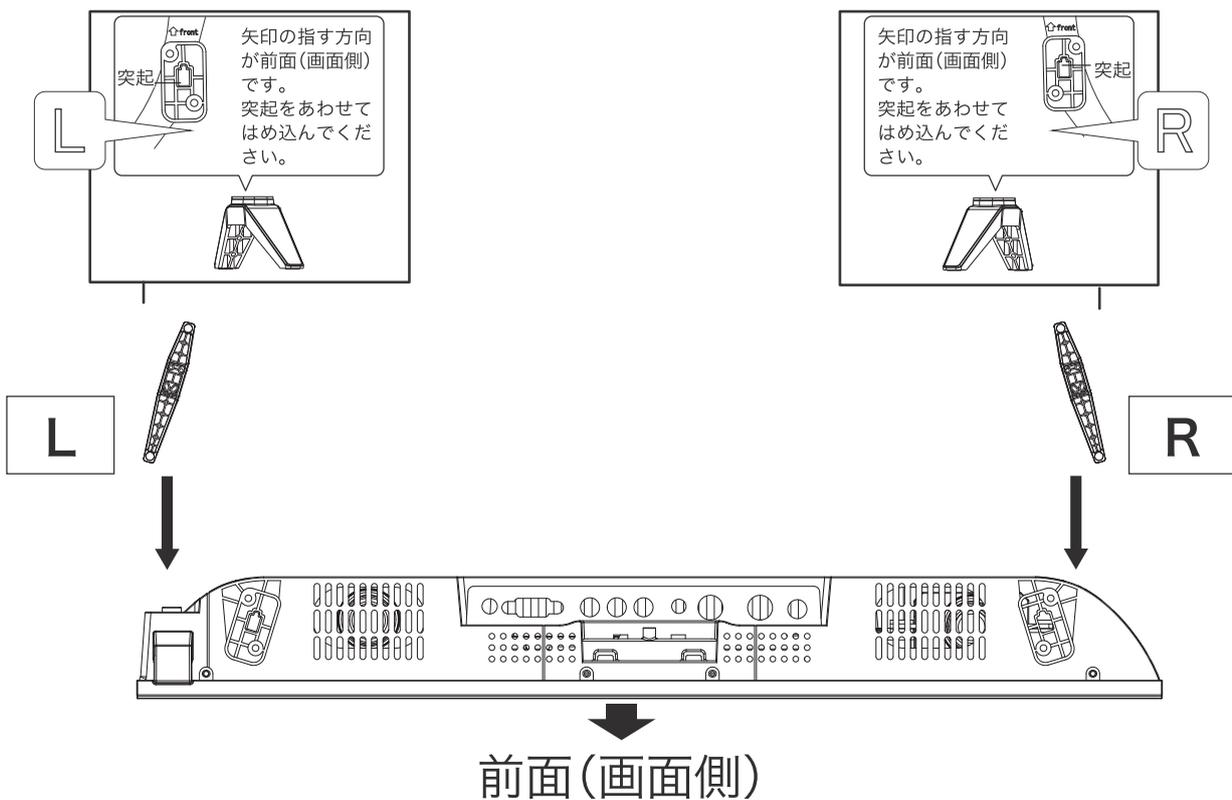
⚠ 注意

- 必ず2人以上で取り付け作業をしてください。
1人で作業すると、ケガなどの原因となります。
- 画面を押ししたり、強く握らないでください。
画面を強く押ししたり、強く握ったりすると、破損するおそれがあります。
- スタンド取付ねじはタッピングねじを使用しています。尖った部分があるため、取り扱いには注意してください。
- ねじ受け破損防止のため、ねじはねじ穴に対し真っすぐ入れ、無理に回さないようにしてください。

●本製品の組み立てにはプラスドライバー(No.2)が必要です。

スタンドは右用と左用があります。

スタンドをよく見て下図の向きに取り付け、スタンド取り付け用ねじで固定してください。



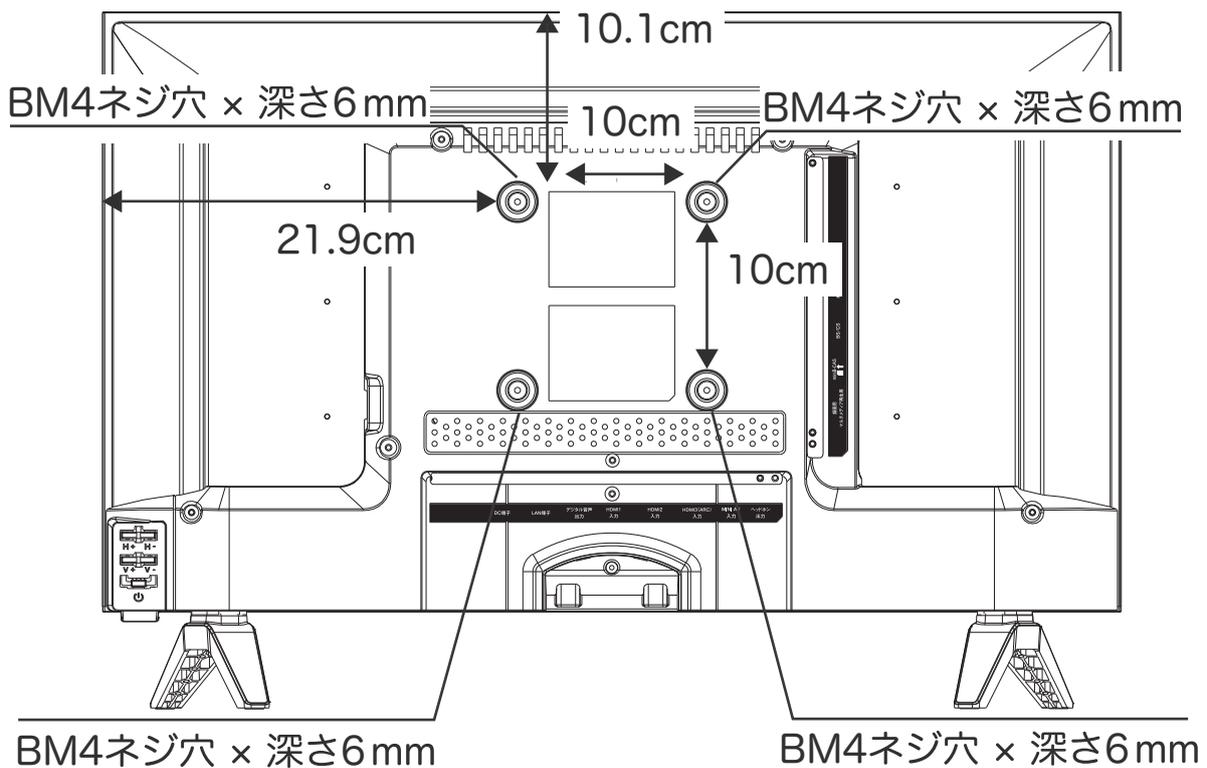
● 設置のしかた (つづき)

スタンド壁掛け金具で取り付ける

⚠ 注意

- 壁掛け金具の取り付けには取り付け後の落下などの危険を考慮し、お客様による施工は行わず、必ず工事業者へ依頼してください。
- 安全のため、取り付け場所の強度は、長期間にわたって本製品と壁掛け金具の荷重に耐えるよう十分に注意の上、施工してください。
- 通気のため壁から5cm以上離して設置してください。
- 安全のため、画面を下方方向に傾けて取り付けないでください。

付属のスタンドを使用せずに、壁掛け金具や壁よせスタンドを使用する場合は、本体背面のVESA 100×100(10cm×10cm BM4ネジ×6mm)のネジ穴をご利用ください。具体的な取付方法は、取り付け業者や、金具・スタンドの取扱説明書をご確認ください。



● 設置のしかた (つづき)

miniB-CAS カードを入れる

miniB-CAS カードについて

- 地上デジタル放送・BS デジタル放送・110度CS デジタル放送が視聴制限に使用しているのが B-CAS カードです。
- デジタル放送をお楽しみいただくためには、B-CAS カードを本機に挿入していただくことが必要です。



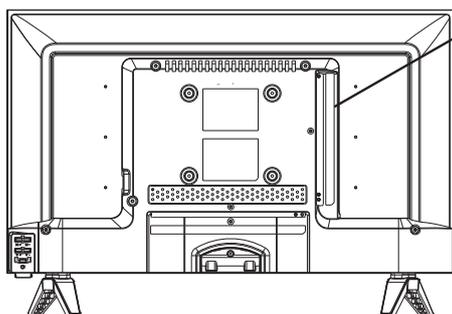
お知らせ

- miniB-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター(TEL:070-000-250)までお願いいたします。

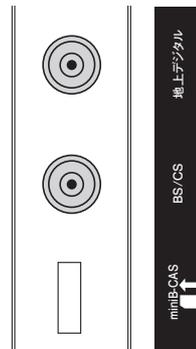
取扱い上のご注意

- miniB-CAS カードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損などによる B-CAS カードの再発行は有料です。
- miniB-CAS カードの金属部(集積回路)には触れないでください。
- miniB-CAS カードの抜き差しは、必要な場合を除いて行わないようにしてください。

本体背面



miniB-CASカード挿入口



本体裏側(拡大)



注意: miniB-CASカードの面と向きが違えば放送受信ができません。

● アンテナの接続

⚠️ ご注意

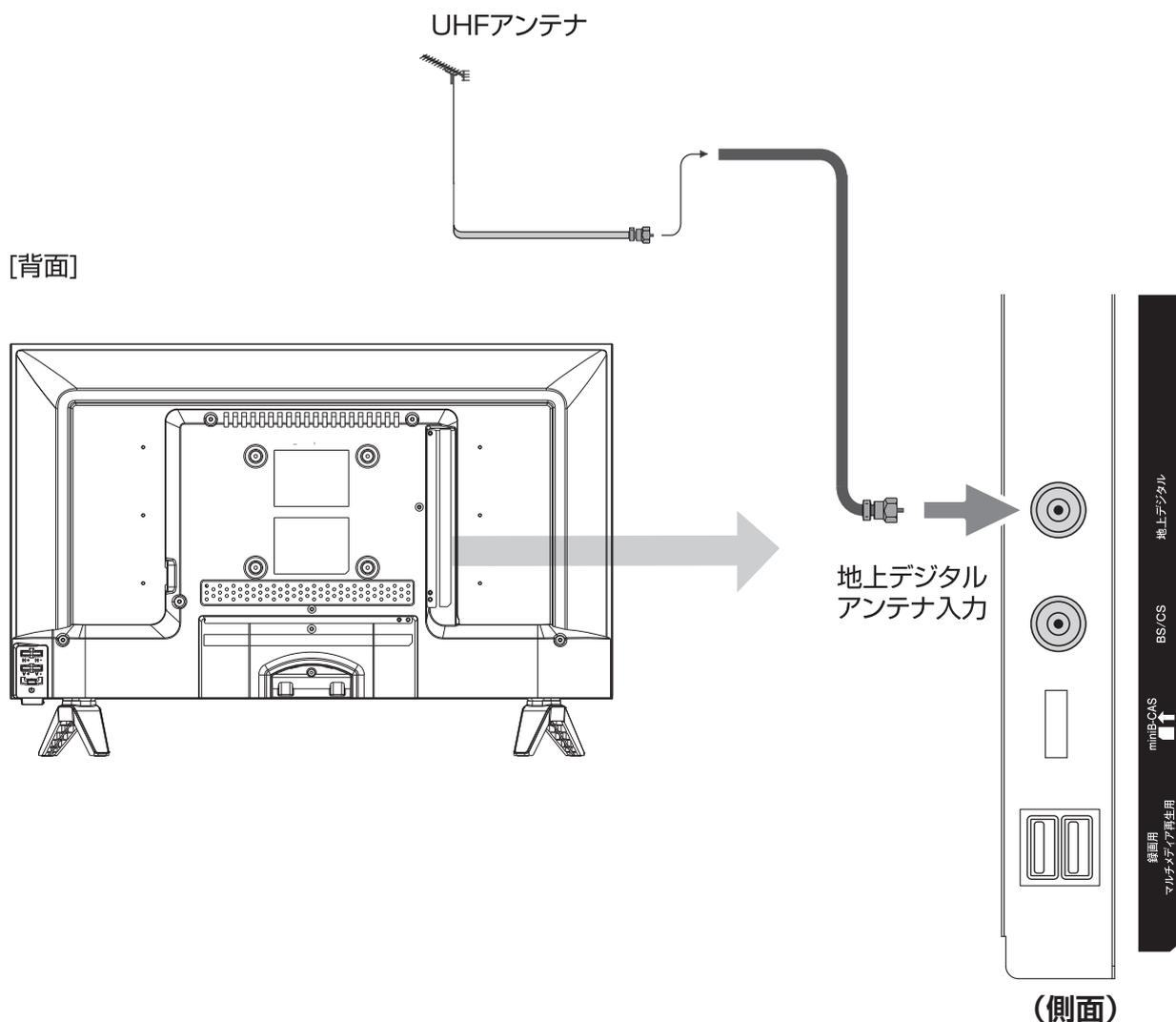
- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの再送信の方式によって接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

UHF アンテナを接続する

市販のアンテナケーブルを、地上デジタルアンテナ入力端子とUHFアンテナに直接接続します。

の方向を調整してください。お住まいの地域・地形によって受信レベルは異なりますが、目安としては50以上できれいに受信できます。信号レベルが上がらない場合は、市販のブースターをつけることをお勧めします。

- 地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナを使用します。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- 本製品のアンテナ入力端子はF型です。アンテナケーブルを購入される際には端子形状をご確認ください。
- 【メニュー】を押して、機能設定→信号レベルを選択して受信レベルが最大になるようにアンテナ



● アンテナの接続 (つづき)

BS・110度CS 共用 アンテナを接続する注意

市販のアンテナケーブルを、BS・110度CS デジタルアンテナ入力端子と BS・110度CS アンテナに直接接続します。

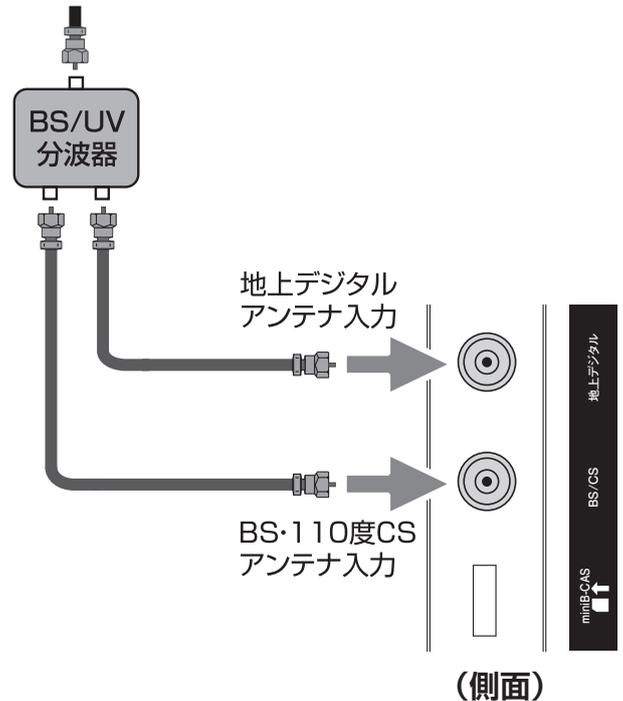
- アンテナは BS・110度CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器などは、110度CS 帯域 (2,150MHz) まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。これまでご使用になっていた BS アンテナでも、性能や方向調整が十分な場合は BS デジタル放送を受信できますが、110度CS デジタル放送の受信には BS・110度CS 共用アンテナが必要です。
- スカパー!用のアンテナでは 110度CS デジタル放送は受信できません。
- BS・110度CS 共用アンテナの取り付けについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CS デジタルアンテナ入力端子に VHF/UHF のアンテナ線を接続しないでください。故障の原因となります。
- [メニュー]**を押して、**機能設定**→**信号レベル**を選択して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。50以上あればきれいに受信できます。
- ⚙**を押して、**決定**→**チャンネルと入力**→**決定**→**チャンネル**→**BS/CSアンテナ電源オン/オフ** (P.71ページ) でアンテナ電源の設定をオンに設定してください。
- 家庭用分配器を使って複数の BS 機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプを必ずお使いください。この場合、本機か他の BS 機器か、どちらかのアンテナ電源の供給を「オン」に設定してください。両方とも「オン」に設定すると故障の原因となります。また、本機の電源をスタンバイ・オフ状態にしたときはアンテナ電源は供給されません。他の BS 機器を本機がオフまたはスタンバイの時に使う場合は、当該機器より電源を供給してください。

マンションなどの共聴システムで接続する

まずはお住まいのマンションなどが、地上デジタルや BS・110度CS デジタルにどのように対応しているかを、マンション管理会社などにご確認ください。BS・110度CS と VHF/UHF が混在されている場合は、市販の BS/UV 分波器を使用して接続します。分波器は 110度CS 帯域 (2,150MHz) まで対応している金属シールドタイプをお選びください。

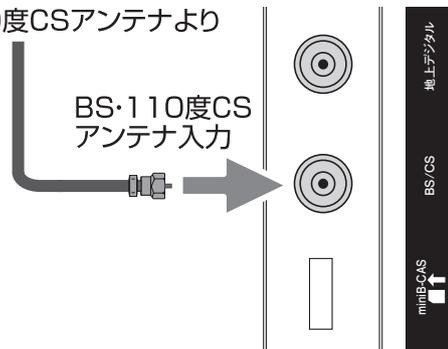
- ⚙**を押して、**決定**→**チャンネルと入力**→**決定**→**チャンネル**→**BS/CSアンテナ電源オン/オフ** (P.71ページ) でアンテナ電源の設定をオフに設定してください。

共聴システムより



(側面)

BSまたは110度CSアンテナより



(側面)

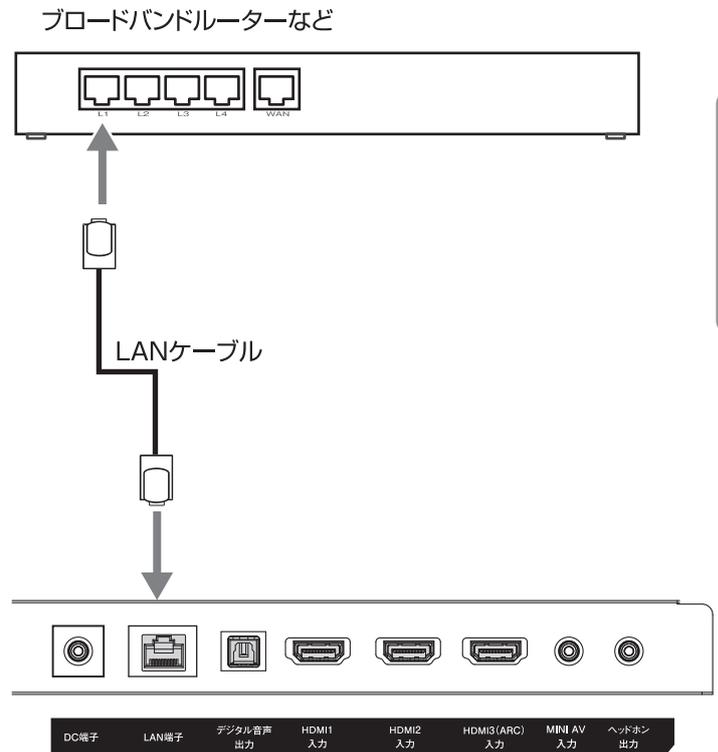
● インターネットへの接続

デジタル放送では、ブロードバンド回線に接続して、データ放送の双方向サービスを利用することができます。双方向サービスを利用すると、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組での買い物ができます。Googleのアカウント連携をして、オンラインサービスやテレビのアプリケーションの追加ができます。Google TVの動画配信サービスを利用して、映画などを楽しむことができます。

- 無線ネットワークに接続する
テレビ内蔵の無線LANと自宅の無線LAN対応ルータのアクセスポイントに接続します。ネットワークとインターネット設定(73ページ)を確認してください。
- 有線ネットワークに接続する
お使いのFTTH回線終端装置、ケーブルモデムなどにあるLANポートの一つと本機のLAN端子を接続してください。LANポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用してください。ネットワークとインターネット設定(73ページ)を確認してください。

お知らせ

- 双方向サービスを利用しない場合、LANへの接続は必要ありません。
- 双方向サービスを利用するには、サービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、すでにパソコンがインターネットに接続されているなどブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をされる場合は、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、複数台の接続ができない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 接続に必要なブロードバンドルーターなどの機器は、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。
- 回線業者やプロバイダーから提供される説明書もよくお読みください。不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。



(底面)

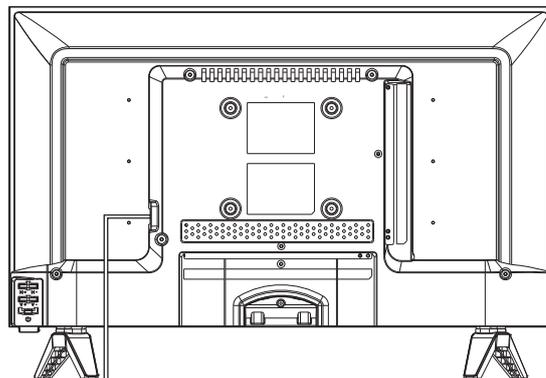
● 電源コードの接続

接続する

付属のAC/DCアダプタの本体側プラグを本体背面下の「電源」に接続し、コンセント側プラグを家庭用100V電源コンセントに接続してください。

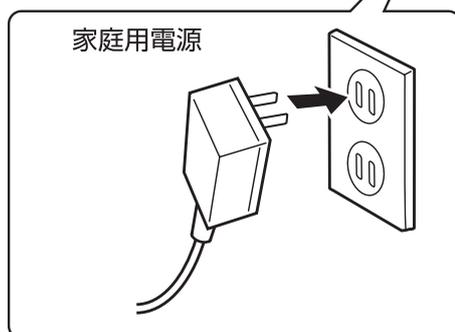
お知らせ

- 通常はAC/DCアダプタをコンセントに差したままにしてください。抜いてしまうと番組表が更新されません（[p.52](#)ページ）。お手入れの際や長時間ご使用にならないときは、AC/DCアダプタをコンセントから抜いてください。



電源コード
コンセントへ

ACアダプタ



電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定などが無効になってしまうことがあります。またハードディスクが故障するおそれがあります。まずリモコンの【電源】を押して電源を切り、そのおよそ20秒後に電源プラグを抜いてください。



● 他の機器との接続

本機では、他の機器を接続して映像や音を楽しんだり、本機で受信した番組を他の機器（別売）に録画することができます。

⚠️ ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

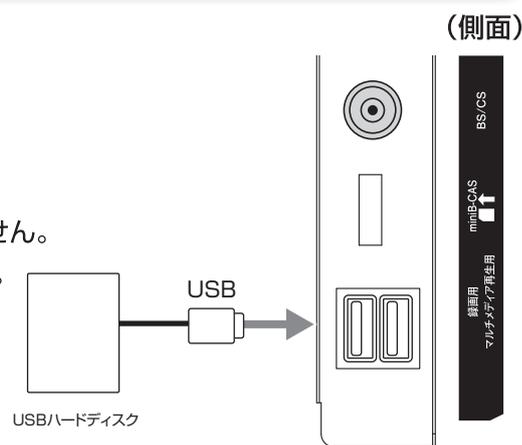
USB ハードディスクを接続する

別売の USB ハードディスクを USB 端子に 1 台接続することができます。

- 録画用、USBハードディスクの接続（[56ページ](#)）
- マルチメディア再生、USBハードディスクの接続（[46ページ](#)）

お知らせ

- USB 端子には USB ハードディスク以外の USB 機器の使用はできません。
- USB ハードディスクには本機との相性で使用できない場合があります。



ヘッドホンを接続する

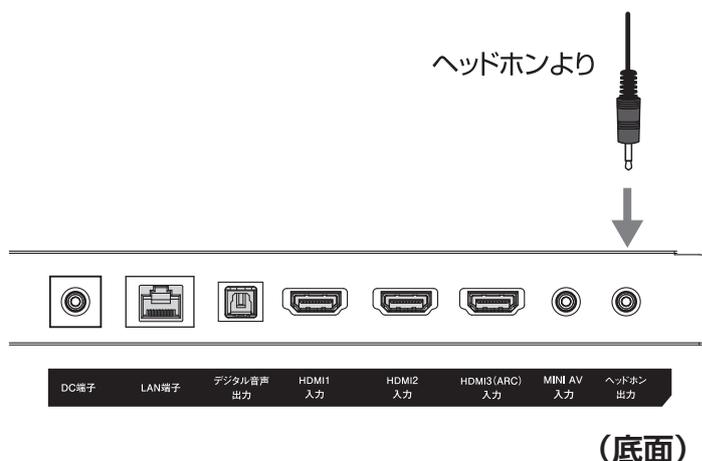
市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャックに接続します。[音量+]/[音量-]で音量を調整します。

お知らせ

- を押して、**決定→ディスプレイとサウンド→サウンド→スピーカー→自動/オフ** スピーカーオフの設定をするとヘッドホンを抜いても音が出ません。

⚠️ ご注意

- 大きな音量設定でヘッドホンプラグを抜くと、スピーカーから大きな音が出ます。音量を下げてから、ヘッドホンプラグを抜くようにしてください。
- ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞さください。



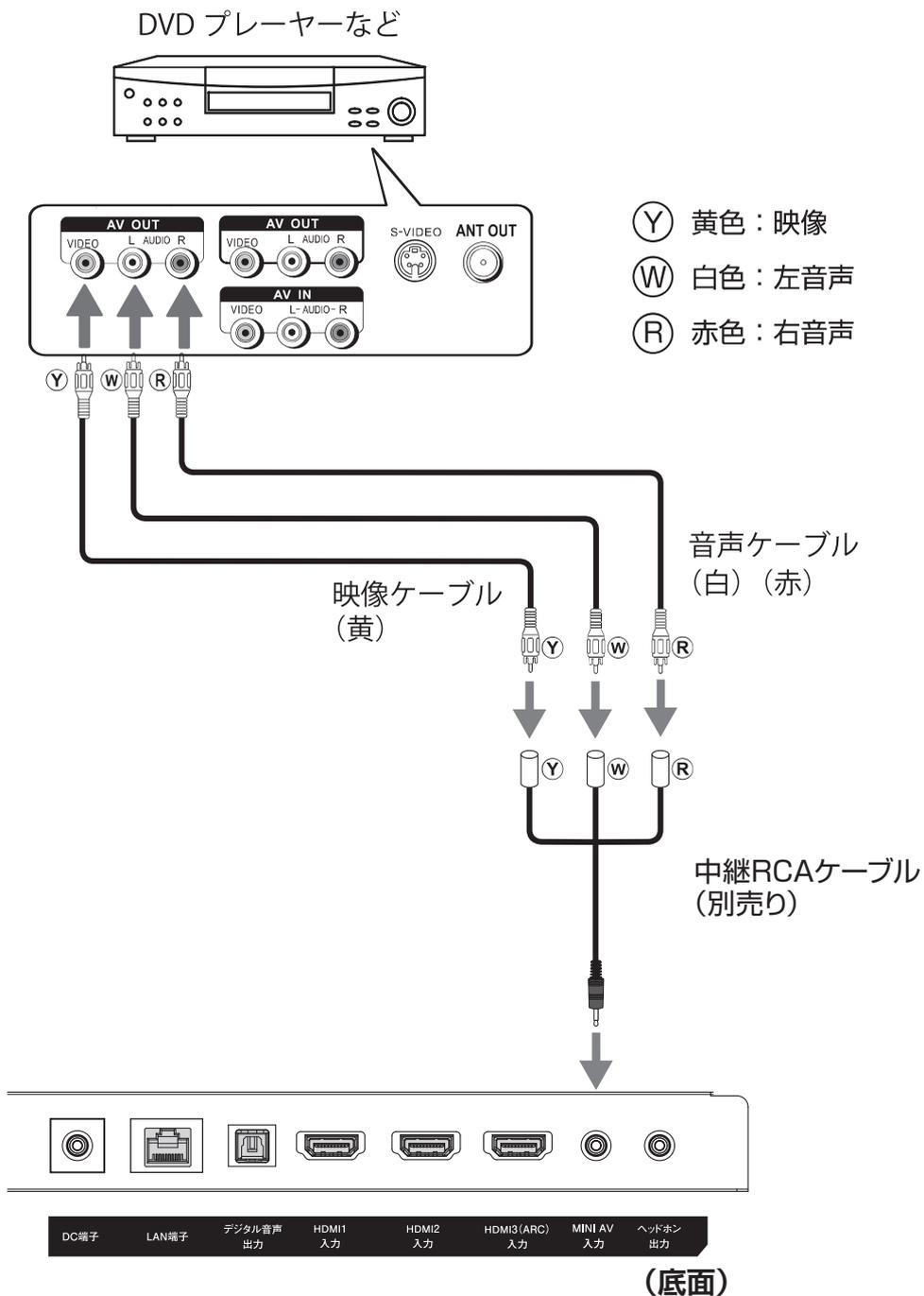
他の機器との接続 (つづき)

DVD プレーヤーなどを接続する

ビデオ入力端子に接続する

市販の映像音声ケーブルで、DVDプレーヤーなどの映像音声出力端子と本機のビデオ入力端子/ビデオ入力(音声)端子を接続します。黄色のプラグをビデオ入力端子に、赤と白のプラグをビデオ入力(音声)端子に、プラグと端子の色をそれぞれ合わせるようにして接続してください。

準備

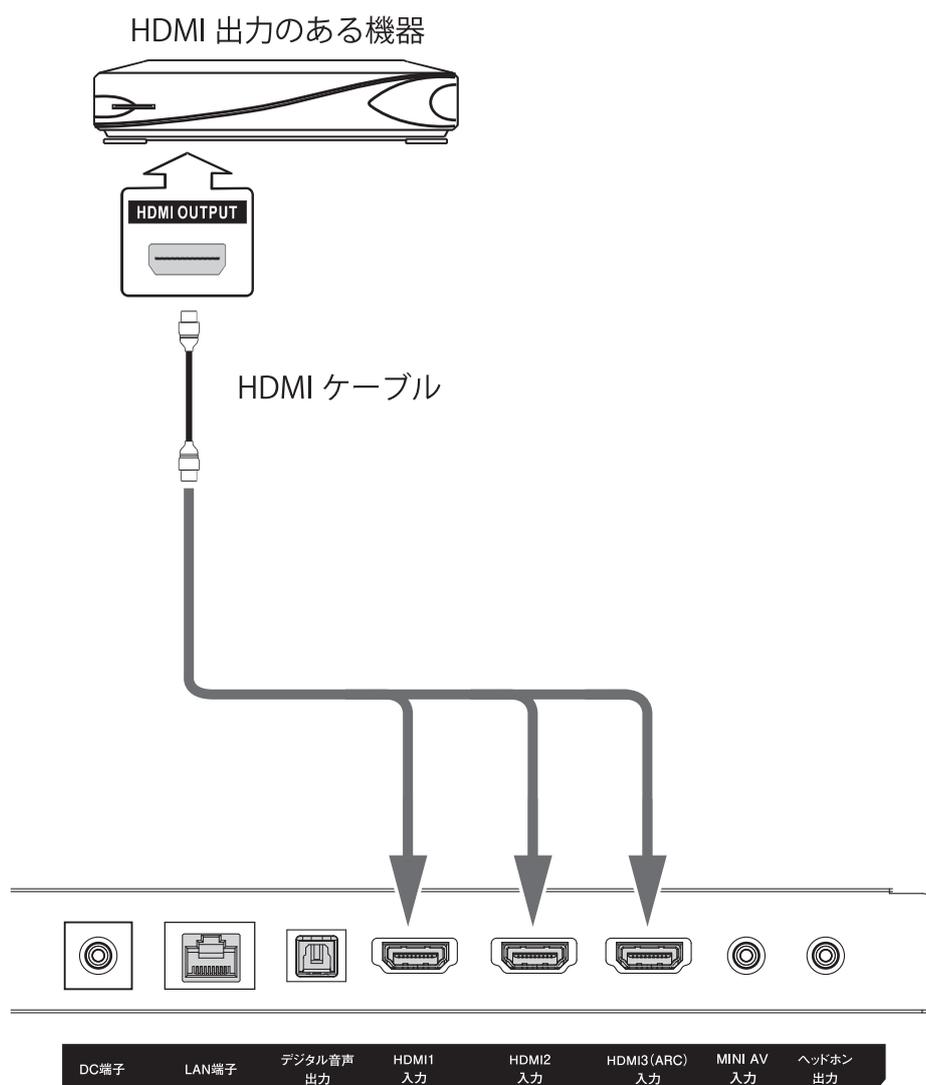


HDMI 入力端子に接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、ブルーレイレコーダー、HDD レコーダー、デジタルチューナーなどの HDMI 出力と本機の HDMI 入力 1 端子または HDMI 2 入力端子、HDMI 3 入力端子のいずれかをつないでください。HDMI ケーブルはデジタル信号で映像と音声を 1 本で接続します。

お知らせ

- パソコンなどの DVI 出力のある機器との接続は保証しておりません。
- 映像・音声が表示・出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。



(底面)

他の機器との接続 (つづき)

パソコンを接続する

準備

● HDMI ケーブルで接続する

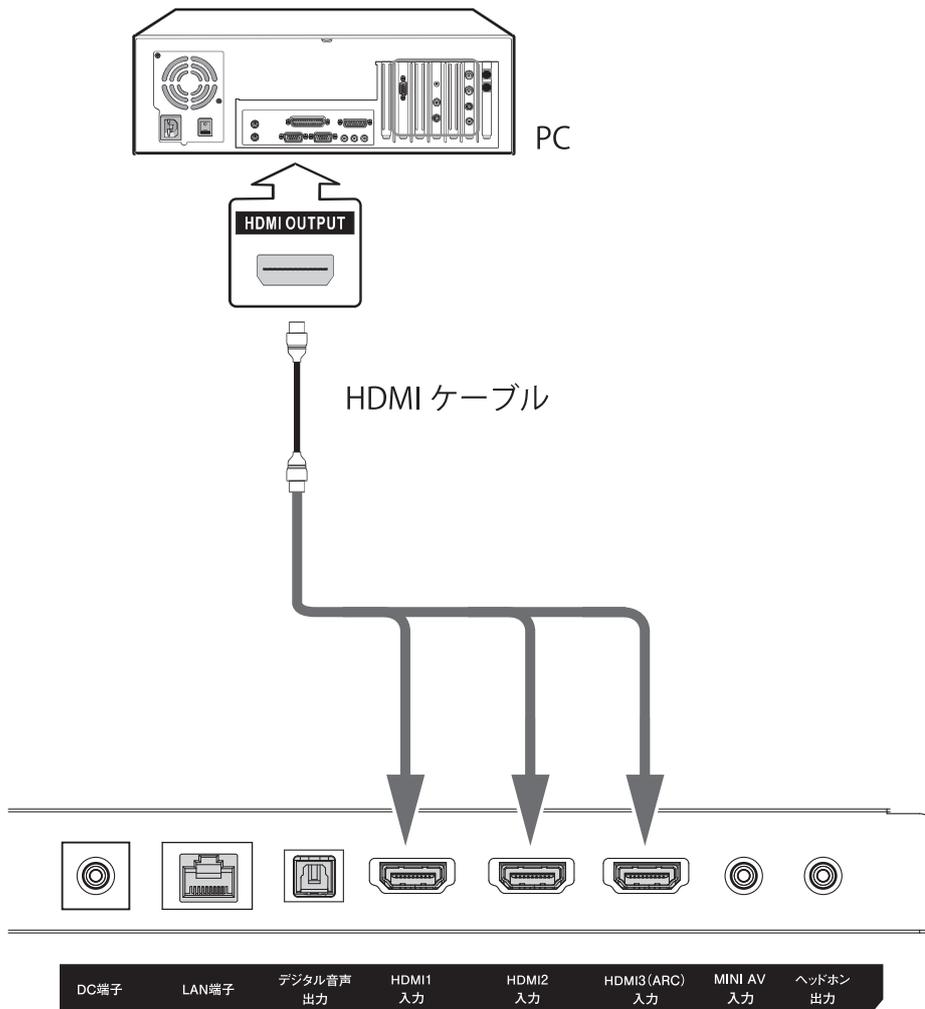
HDMI ケーブルでパソコンの HDMI 出力と、本機の HDMI 入力端子を接続します。対応解像度は下記の通りです。

解像度
480i
480p
576i
576p
720p
1080i
1080p
2160p

パソコン側で外部出力の設定をしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 全てのパソコンでの動作検証は行っていません。また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。
- 必要に応じて画面サイズ切替を設定してください。
([P.72](#) ページ)
- パソコンなどの DVI 出力のある機器との接続は保証していません。
- 決定→設定→ディスプレイとサウンド→画面



(底面)

光デジタルケーブルで AV アンプなどを接続する

市販の光デジタルケーブルでAVアンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。光デジタル接続を使用することにより、AVアンプなどから音声を出力し、5.1chの臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下のように選ぶことができます。

(☞72ページ)

⚙️を押して、設定→ディスプレイとサウンド→オーディオ出力

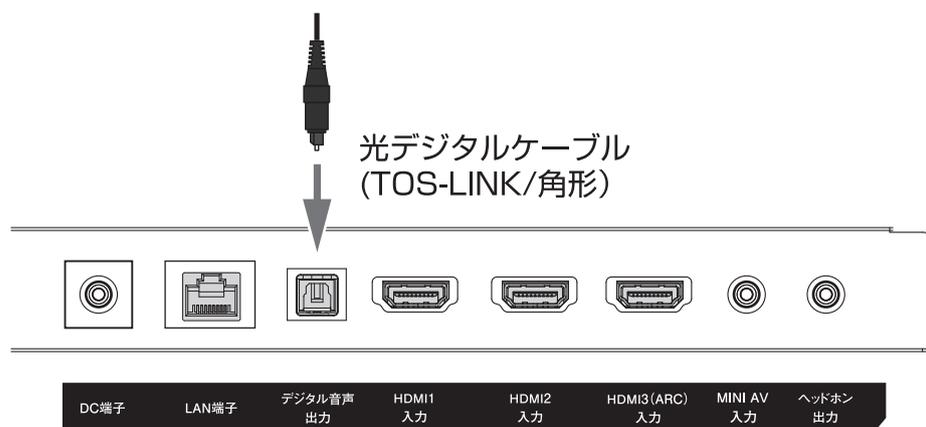
自動

バイパス

PCM

ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタル



(底面)

HDMIケーブルでAVアンプなどに接続する

本機のHDMI3入力端子はARC(オーディオリターンチャンネルに対応しています。ARC対応のAVアンプとHDMIケーブルに接続することにより、デジタル音声をAVアンプに出力することができます。接続するAVアンプによって、デジタル音声出力設定をすることができます。(☞72ページ)

● 他の機器との接続 (つづき)

HDMI連動【CEC】対応機器に接続する

市販のHDMIケーブルを使い、HDMI連動【CEC】対応機器(AVアンプ、DVDレコーダなど)を接続することにより、本機のリモコンで操作が可能です。対応機器により、操作できる項目は異なります。

リモコンの  を押し、決定ボタンを押します。

チャンネルと入力から入力を選び、HDMI制御を選択します。決定を押して、HDMI制御をオンにします。

( 71ページ)

以下の設定が出来ます。

デバイスの自動電源オフ

テレビの自動電源オン

CECデバイスリストの確認

準備

Bluetooth機器を接続する

●Bluetooth接続機器(ヘッドホン、スピーカーなど)を接続して使用することができます。

1  を押し、メニューから「設定」を選択して決定ボタンを押します。



2 「リモコンとアクセサリ」を選択、決定ボタンを押します。

3 接続したいBluetooth 機器をペアリング待機状態にします。ペアリング待機にする方法は各Bluetooth 機器の取扱説明書などを参照してください。

4 「アクセサリのペア設定」を選択、決定ボタンを押して待つと、ペアリング待機中の機器の一覧が表示されます。

5 表示された名称から、接続したい機器を選択し、ペアリングします。ペアリング中に4桁のPIN コード(接続コード)を要求された場合は表示に従って入力してください。

6 接続完了後、アクセサリ欄に機器が追加されます。

機器メニュー

各接続機器を選択すると、下記の機器メニューが表示されます。

- **接続**
接続が解除された機器を再接続します
- **接続を解除**
接続を解除します。
- **名前を変更**
テレビで表示される機器の名称を変更します。
- **削除**
ペアリングを削除します。再度接続するときはペアリングをし直してください。

●対応プロファイルは A2DP / AVRCP / HID / HOGP となります。

● 初期設定をする

「初期設定」について

- ソフトウェアアップデートにより、表示内容や手順の詳細が変更となる場合があります。異なる際は画面の表示に従って設定を進めてください。
- Google アカウントをあらかじめ取得していただくとスムーズに登録作業が行えます。
- このテレビは、Google TV プラットフォームを使ったスマートテレビです。Google Play ストアでアプリケーションの追加や、Google Cast 機能でスマートフォンで見ていた動画をテレビで続きから見る、音声で検索することもできます。
- 初期設定画面は、初めてテレビを起動したときに表示され、画面に表示される指示に従って、設定を行ってください。
- 表示された画面で、リモコンの方向 (▼▲◀▶) ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押します。前のメニューに戻るには  ボタンを押します。

初期設定の流れ

- 初期設定画面では、テレビの使用を開始する前に基本設定を行うことができます。詳細設定は 36 ~ 39 ページを参照してください。

1. リモコンと本製品をペアリングする

ペアリングを行うことで、リモコンが Bluetooth 接続に変わります。リモコンをテレビに向けなくても使えたり、音声で検索できるようになります。電池の消耗は多くなります。

リモコンを受光部に向け、 と  ボタンをインジケータ LED が点滅するまで押し続けます。

2. 言語設定

画面に表示される言語を設定します。

3. Google TV を設定する

行う初期設定を選択します。

Google TV の設定：Google アカウントの設定を行い、スマートテレビ機能や動画配信サービスを使用するための設定を行います。

ベーシックテレビの設定：Google アカウントを利用せず外部入力などの設定を行います。

4. Google アカウント登録の選択

リモコンまたはお使いのスマートフォンで Google アカウントを登録します。

5. ネットワークの設定

Wi-Fi ネットワークを選択するか、イーサネット (LAN) ケーブルを接続して、テレビをインターネットに接続します。

6. Google アカウント登録

Google アカウントとパスワードを入力してログインします。

7. Google の利用規約

Google の利用規約、Google のプライバシーポリシー、および Google Play の利用規約を表示します。

8. Google サービスの確認

位置情報の使用 / Google TV 改善に協力 / おすすめ機能 / サービスとプライバシーなどの内容を確認します。Google アシスタントや複数アプリの検索結果をまとめて表示などの設定をします。

9. ネットワークのプライバシーポリシー

内容全文を読み、ご理解の上で同意してください。

10. パスワード入力

画面に表示される手順に従ってパスワードを入力してください。視聴制限などに使用します。

11. 設置場所

テレビの設置場所を自宅 (ホーム) か販売店 (ショップ) か選択します。販売店を選択した場合、店頭展示用の設定が有効になります。

12. エネルギーオプション

スタンバイ時に外部から起動できるようにするか設定できます。

13. チャンネルスキャン

チャンネルスキャンを実行します。

- ①郵便番号の設定
- ②地域および受信範囲設定
- ③チャンネルスキャン
- ④衛星放送アンテナへの電源供給設定
- ⑤完了

14. 免責事項

内容全文を読み、ご理解の上承諾してください。

15. アプリをインストールする

アプリケーションの追加や更新データをインストールします。

16. Google ホーム画面表示

ホーム画面が表示されたら、初期設定はすべて完了です。

初期設定をする (つづき)

初期設定

初めて電源を入れたときは、Google TV のロゴを表示後、初期設定画面が表示されます。
※起動から初期設定画面表示まで数分かかります。

1 リモコンと本製品をペアリングする



リモコンの と ボタンを5秒以上押し続けてペアリングします。ペアリング作業中はリモコンをテレビの底面に向け続けてください。
ペアリング作業中は画面右下に経過が表示されます。

2 言語設定



▲▼で【日本語】を選択し、決定ボタンを押します。

3 Google TV を設定する



▲▼で【Google TV の設定】を選択し、決定ボタンを押します。

・ Google TV の設定 :

スマートテレビ機能や、ネット動画を楽しめます。

・ベーシックテレビの設定 :

テレビ放送や外部機器を主に視聴します。

※本書は【Google TV の設定】を選択した例を説明します。

4 Google アカウント登録方法の選択



リモコンまたはお使いのスマートフォンで Google アカウント登録をします。

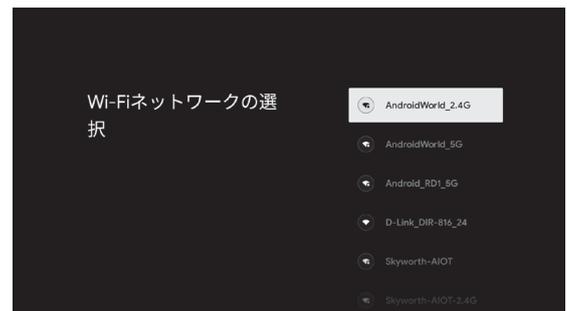
・リモコンで設定する場合は、▼を押して【リモコンで設定を続ける】を選択し、決定ボタンを押します。

・スマートフォンから設定する場合は、お使いのスマートフォンに Google Home アプリをダウンロードし、アプリケーションメニュー「デバイスをセットアップ」または「Google TV デバイスをセットアップ」を選択し、スマートフォンに表示される手順に従って進めてください。

画面左上に表示される Google TV 0000 (4桁の数字)と画面右側に表示されるQRコードを使って設定します。
※本書はリモコンを用いた登録方法を説明します。

5 ネットワークの設定

一覧より接続したいネットワーク名を選択し、ネットワーク名のパスワードを入力し、ネットワークへ接続します。



※本製品は有線ネットワーク/無線ネットワークに対応しています。有線ネットワークの接続方法は27ページを参照してください。



●使用したネットワーク名 (SSID)、パスワードは再設置やトラブルシューティングのため控えておいてください。
※本製品は無線ネットワークと有線ネットワークの同時利用には対応していません。

初期設定をする (つづき)

6 Google アカウント登録

① Google アカウントを登録します。ご自身の Google アカウントのメールアドレスまたは電話番号を入力してください。

※本書ではリモコンを使った登録を例として説明します。

- 「アカウントを作成」を選択すると、新しいアカウント（個人認証情報）を作成することができます。
- 使用したアカウント名、パスワードを控えておいてください。

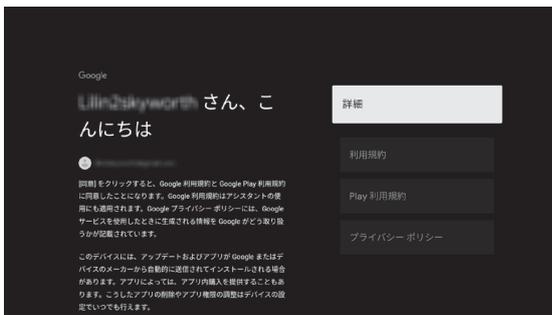


②パスワードを入力してください。

入力後に【次へ】を選択し、決定ボタンを押します。使用するアカウントと結びついたメールアドレスやスマートフォンに利用通知が送られます。アカウントを安全に保つため、表示画面に従って2段階認証プロセスを行ってください。



7 Google の利用規約



Google の利用規約、Google のプライバシーポリシー、および Google Play の利用規約を表示します。

①【詳細】を選択し、決定ボタンを押します。



②各項目の内容をご確認の上で、【同意する】を選択し、決定ボタンを押します。

8 Google サービスの確認



①各項目よりサービスの詳細をご確認の上で、【同意する】を選択し、決定ボタンを押します。



②【次へ】を選択し、決定ボタンを押します。



③「複数アプリの検索結果をまとめて表示」画面で、【許可する】を選択すると、音声検索を使用する場合は該当アプリが呼び出されます。【許可しない】を選択すると、音声検索する場合に該当する権限申請が表示されます。内容を理解し、有効にする(同意する)か選択してください。

初期設定をする (つづき)



アプリ一覧 プリインストールアプリ

- ④ ▲▼◀▶ でインストールしたいアプリを選択し、決定ボタンを押すとアプリ右上に ✓ が表示されます。選択を取り消すには、再度決定ボタンを押してください。
- ⑤ 【確認】を選択し、決定ボタンを押します。

テレビの設置場所を「自宅」または「販売店」か選択します。販売店を選択すると店頭展示用の機能が有効になります。

12 エネルギーオプション



- 画面の指示に従って設定してください。
- ・ 節約モード : 使用していない時の消費電力を抑えることができます。
 - ・ Chromecast built-in : スタンバイ状態でも Google Cast が使用できます。
 - ・ Wake on Network のみ : スタンバイ状態から Wake on LAN 機能で起動します。

9 ネットワークのプライバシーポリシー



ネットワークのプライバシーポリシーを確認の上、「OK」を選択します。

10 パスワード入力



パスワード入力画面が表示されます。画面に表示される手順に従ってパスワードを入力してください。

11 設置場所



13 チャンネルスキャン

テレビの受信をするための設定画面になります。画面の手順に従って進めてください。

- ① 郵便番号の設定を行います。テレビ設置場所の郵便番号を入力してください。



- ② 地域と受信帯域の選択を行います。リストからテレビ設置場所の地域を選択してください。



- ③ 続けて受信帯域(チャンネルスキャンの範囲)を選択します。通常は「UHF」を選択します。【次へ】を選択し、決定ボタンを押すとチャンネルスキャンが始まります。

初期設定をする (つづき)



- ④チャンネルスキャン。
スキャンが終了するまでお待ちください。



スキャンが終了したら【次へ】を選択し、決定ボタンを押します。



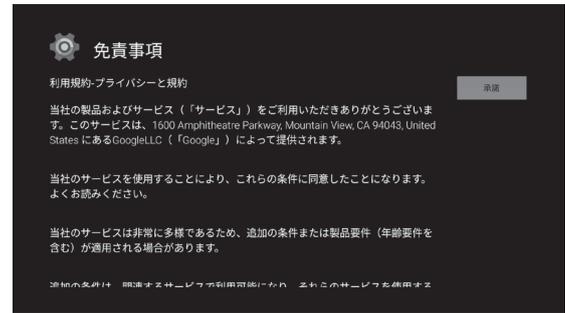
- ⑤BS/CSアンテナ電源供給設定の「オン」「オフ」を設定します。
BS/CSアンテナをつながない場合や、別の機器からアンテナ電源を供給する場合は、「オフ」に設定し、本製品から電源を供給する場合は、「オン」に設定してください。



- ⑥チャンネルスキャンは以上で終了です。
※郵便番号、地域はあとからでも設定できます。
詳しくは71ページを参照してください。

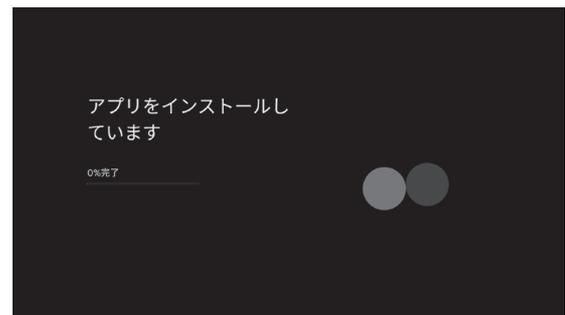
※セットアップを途中で中止したときや、設定が正しくない時は、視聴画面が表示されないことがあります。この場合、もう一度アンテナの接続を確認した上で最初からやり直してください。71ページの「チャンネルと入力」メニューからでも実行できます。

14 免責事項



免責事項をよく読んだ上でご利用ください。読み終わったら「承諾」を選択します。

15 アプリをインストールする



- ①アプリをインストールします。
時間がかかりますので、インストール完了までお待ちください。



- ②Google TVの準備が終わりました。
決定ボタンを押してください。
Google TVのホーム画面が表示されます。
(41ページ参照)

Google TVを見る

この章では、Google TVを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

	ページ
Google TVのホーム画面	41
リモコンのマイクを使う	43
設定する	44
文字を入力する	45
メディアプレーヤを使用する	46

Google TVのホーム画面

- Google TV が、さまざまなアプリやサブスクリプションからあなたのお気に入りのコンテンツをまとめます。
検索は簡単です。Google に話しかけるだけ。
- スマートテレビのアプリケーションを使用する前にネットワークの設定を行ってください。
- ネットワークの状態によっては、応答が遅くなったり中断されたりすることがあります。
- アプリケーションの使用中に問題が発生した場合は、コンテンツプロバイダ(アプリケーションの開発元)へ連絡してください。
- コンテンツプロバイダの状況に応じて、アプリケーションの更新またはアプリケーション自体の配布やサービスが終了することがあります。
- 国の規制によっては、一部のアプリケーションにおいてサービスが制限されたりサポートされない場合があります。
- お申し込み内容の変更などがサービス提供者による予告なしに行われることがあります。
- 詳しくはご利用のアプリケーション・コンテンツプロバイダへご確認ください。

ホーム画面

1 リモコンの(🏠)ボタンを押すとGoogle TVのホーム画面を表示します。



※バージョンアップにより画面が異なる場合があります。

2 選択したいアプリ、機能などを▲▼◀▶で選択し、決定ボタンで確定します。

3 ◀ボタンを押すと、前の画面または前の手順に戻ります。

(A) 検索、おすすめ、映画、番組、アプリ、ライブラリ、設定

- ・検索 🔍 : ◀▶で選び、決定ボタンを押すとリモコンの(🗨️)またはテレビに表示されるキーボードを使用してキーワードを入力したり、さまざまなコンテンツを検索したりできます。
※音声検索の詳細については、43ページの「リモコンのマイクを使う」を参照してください。

- ・おすすめ : おすすめを表示します。
- ・映画 : 映画を表示します。
- ・番組 : 番組を表示します。
- ・アプリ : アプリリストを表示します。
- ・ライブラリ : テレビやスマートフォンなどで購入、レンタル、見たいものリストに追加したコンテンツが表示されます。
- ・設定 ⚙️ : ダッシュボードを表示します。

(B) アプリ

- ①インストール済みのアプリのリストが表示されます。◀▶で選択します。
- ②アプリを選択して、決定ボタンを押すと、放送や選択したコンテンツを視聴できます。
- ③アプリを選択して決定ボタンを長押しすると、並べ替え順を変更したり、削除したりできます。

Google TVのホーム画面 (つづき)

アプリケーションを追加する

ホーム画面から「アプリ」タブを選択します。画面を下にスクロールするとおすすめアプリケーションの表示や、検索バーが表示されます。

使用したいアプリを選択したら、画面の指示に従ってインストールします。インストール済のアプリを選択した場合、アプリが実行されます。

●ご自身で追加したアプリの動作に関しましては保証対象外となります。自己責任のもとでご利用ください。

アプリの選択方法

- ・ アプリやゲームを検索
使いたいアプリやゲームの名称を検索することができます。
- ・ アプリのカテゴリ
カテゴリごとにアプリが選択されて提示されます。
- ・ 他のデバイスのマイアプリ
Google TV を複数台設置しているときに、他のテレビで使用しているアプリが表示されます。

アプリケーションを削除する

- ① アプリリスト (41ページ (B) アプリ) から、削除したいアプリを選択し決定ボタンを長押しします。
リスト中に表示されない場合、右端の「すべて表示」を選択し「マイアプリ」の中から選択します。
- ② 決定ボタンを長押し表示されたメニューから「詳細を表示」を選択し、決定ボタンを押します。
- ③ 「アンインストール」を選択します。
- ④ 画面に従って、削除をします。



- 出荷時にインストール済のアプリケーションや、システムアプリを削除しないでください。動作が不安定になったり、機能の一部が利用できなくなります。
- アプリ内の契約解約や会員登録の削除などは各サービスを通じて行ってください。

プリインストールアプリ

本製品には動画配信サービスのアプリの他にも様々なアプリがインストールされています。

- 製品のアップデートにより、アプリケーションの動作や出荷時にインストール済のアプリケーションが変更され、本書と異なる場合があります。
- ・ **LiveTV**
テレビ放送や、外部入力の表示に使われるアプリです。
- ・ **MultiMediaPlayer**
メディアプレイヤーアプリです。

● リモコンのマイクを使う

●テレビがさらに便利になりました。映画を探したり、アプリのコンテンツを再生したり、音楽の再生、テレビやスマートホームデバイスの操作など、すべて声で Google に頼んでみましょう。

始めるには、リモコンの Google アシスタントボタンを押して話しかけるだけ。

●音声検索を使用する前に、リモコンとテレビをペアリングする必要があります。

※音声検索を使用するにはインターネット接続が必要です。

※Google アシスタントによるテレビの音声操作をする場合には、Google アカウントへのログインが必要になります。ログイン情報をご確認ください。

●一度リモコンとテレビのペアリングが成功してから(電源ボタン以外のすべてのリモコンのボタン操作は、Bluetooth通信によるものになります)、他の同じ機種種のテレビを操作する場合、成功したペアリングを解除する必要があります。

リモコンとテレビをペアリングする

1 リモコンとテレビがペアリングされていない場合、とボタンを5秒間以上押し続けるとリモコンのインジケータLED が点滅し、画面右下にペアリングの表示が出ます。リモコンが正常にペアリングされると、リモコンのインジケータが消灯します。

2 を押しながら、リモコンのマイクに向かって話します。

●話し終わったら  から指を離してください。

●機種によっては音声例が表示される場合があります。

●マイクに向かって話すと検索結果が表示されます。

●検索結果によっては、リモコンの▲を押すと、さらに検索情報が表示されます。

ペアリングを解除する

1 を押して「設定」→「リモコンとアクセサリ」→「Smart TV Remote」→「接続を解除」→「はい」を選択して、決定ボタンを押します。これによりペアリングが解除され、音声入力ができなくなります。

●再びペアリングするには、上記「リモコンとテレビをペアリングする」の操作を行ってください。

●本製品の初期化設定を行い、工場出荷状態にすると自動的にペアリングは解除されます。

● 設定する

デバイス名の設定、チャンネルと入力、映像と音声、ネットワーク、アカウント、アプリなどのGoogle TV機能に対する設定を行います。

設定メニューを表示して操作する

1 リモコンの  を押すと、通知メニューが表示されます。



2 ▲▼で「設定」  を選び、決定ボタンを押して設定画面に入ります。

3 ▲▼◀▶で項目を選択し、決定ボタンを押して設定します。

4  を押すと前のメニューに戻ります。

5  を押すと設定メニューを閉じて、ホーム画面に戻ります。

アンビエントモード(背景モード)を表示します。(現在のアカウントのGoogle フォト内の写真やアートギャラリーの画像をスライドショーで表示します)

その他システムやアプリケーションからの通知を表示します。



アカウントの切り替え、管理、追加をします。
設定メニューを表示します

設定項目へのショートカットです。

通知メニュー

設定メニュー項目	機能
デバイス名の設定	本製品の名称を設定します。
チャンネルと入力	チャンネルスキャンと外部入力の設定をします。
ディスプレイとサウンド	映像および音声の設定を行えます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fiとインターネットの設定を行います。
アカウントとログイン	テレビを最大限に活用するには、Google アカウントにログインしてください。
プライバシー	位置情報、使用状況と診断、Google アシスタントのアクセスなどを設定します。
アプリ	最近開いたアプリ、インストールされているすべてのアプリ、さまざまなアプリに対する権限を追加したり、特別なアプリアクセスを設定して電力やストレージを節約したりすることができます。
システム	日付/時刻、言語などシステム設定を調整することができます。
ユーザー補助設定	字幕表示や音声読み上げ機能など、使用の補助となる機能を設定できます。
リモコンとアクセサリ	Bluetooth・アクセサリのペアリングを設定することができます。
ヘルプとフィードバック	Google にフィードバックを送信し、Google TV ヘルプサイトにアクセスします。

●設定状況やシステムアップデートにより、表示や内容が変更されることがあります。詳しくは画面の表示をご確認ください。

● 文字を入力する

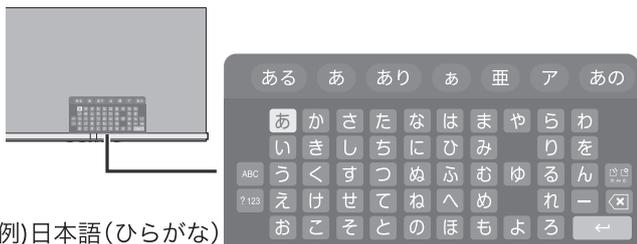
本製品の名称変更や、Google アカウント上での各種文字入力にスクリーンキーボードを使用します。

● ▲▼◀▶を使って表示に従って操作します。スクリーンキーボードに異なる言語に設定する方法の詳細については、下記の「スクリーンキーボードの設定」を参照してください。

スクリーンキーボードを使用する

文字入力フィールドを選択して決定ボタンを押すと、スクリーンキーボードが表示されます。

※下図は参考であり、画面上のキーボードはバージョンアップにより変更されることがあります。



例)日本語(ひらがな)

1 ▲▼◀▶で文字種を選びます。

- キーボード左端の文字種を選択し、入力したい文字種を選びます。
- 日本語の文字を入力するときは文字種「あい」を選択してください。
- 英数字を入力する場合は、文字種「ABC」を選び、キーボードの▲を押して小文字と大文字を切り替えてください。
- 記号を入力するには、文字種「?123」を選択してください。

2 キーボードから文字を▲▼◀▶で選択、決定ボタンを押します。

- 文字を削除するには▲▼◀▶を押して◻️を選び、決定ボタンを押します。決定ボタンを繰り返し押すことで1文字ずつ削除できます。
- さらに文字を入力するには、上記操作を繰り返します。
- キーボード上部に予測変換の結果が表示されます。入力したい単語を選択して決定すると追加できます。

3 文字入力を完了するには▲▼◀▶を押して、◀️を選択してから決定ボタンを押します。

- スクリーンキーボードは消去されます。

スクリーンキーボードの設定

キーボード言語の変更、新しい仮想キーボードの追加、仮想リモートキーボードの有効化など、画面上のキーボードを設定できます。

※すべてのスクリーンキーボードは、ネットワークに接続しなくても使用できます。

1 リモコンの⚙️を押す。

2 「設定」⇒「システム」⇒「キーボード」の順に選び、決定ボタンを押します。

- キーボードオプションが表示されます。



3 設定したいキーボード項目を▲▼を押して選択し、決定ボタンを押します。

4 下記の操作を参照されて、お好みの項目を設定します。

Google 日本語入力(Gboard) の設定

- 現在の Gboard バージョン、言語、利用規約、プライバシーポリシー、オープンソースライセンスなどを見ることが出来ます。

Gboard キーボードの言語を設定するには：

- ① ▲▼を押して「言語」を選び、決定ボタンを押します。以下のオプションが表示されます。

・「Gboard」: Gboard にシステム言語を使用するには▲▼を押して「システム言語を使用」を選び、決定ボタンを押してこのオプションをオンまたはオフにします。

・「有効な入力方法」: Gboard に他の言語を使用するには、▲▼を押して言語を選び、決定ボタンを押して Gboard 用の言語をアクティブにします。

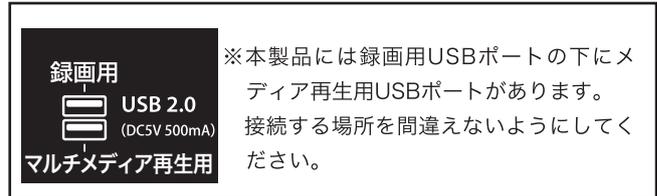
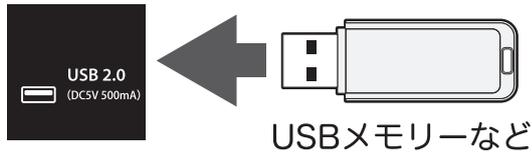
※「有効な入力方法」は、「Gboard」の下の「システム言語を使用」がオフの場合のみ利用可能です。

メディアプレーヤを使用する

●MultiMediaPlayer アプリを使用して、外部の記憶装置(USBメモリーやUSBハードディスクなど)に保存されている写真の閲覧、音楽の視聴、またはビデオの鑑賞ができます。

メディア再生

1 写真、ビデオ、音楽を含むUSBデバイスをテレビのUSBポートに接続します。

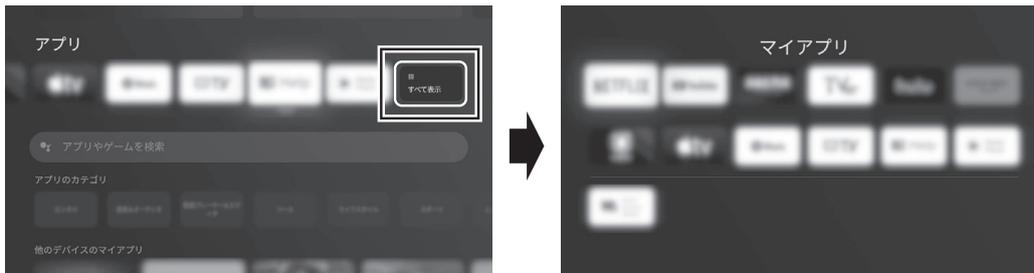


2 リモコンの  を押します。

3 ▲▼◀▶を押して、「アプリ」⇒マイアプリ画面の【MultiMediaPlayer】を選択し、決定ボタンを押すと、メディア再生画面が表示されます。

4 ▲▼を押して、「動画」「写真」「音楽」「テキスト」を選択し、決定ボタンを押します。

・該当する一覧画面が表示されます。



◆サポートされているファイル形式

画像: JPEG/PNG/GIF/BMP

音楽: MP3/AAC/AC3/WAV/FLAC/Ogg Vorbis

動画: MPEG1/MPEG2/MPEG4/H.264/H.265/Motion JPEG/VP9

テキスト: .txt(Unicode形式のもの)

※著作権保護によってプロテクトされているファイルは再生できません。

※これらの条件を満たすファイルであっても再生を保証するものではありません。

※ファイルによっては、字幕やチャプターの機能が使えない場合があります。

※すべての文字には対応していません。

テレビを見る

この章では、テレビを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

	ページ
テレビ番組を楽しむ.....	48
入力切替メニューを使う.....	49
便利な機能を使う.....	50
番組表を見る.....	52
データ放送を楽しむ.....	53

● テレビ番組を楽しむ



テレビ放送を視聴する

テレビ視聴に切り換える

1 地デジ BS CS で放送の種類を選ぶ

- 視聴している放送と同じ種類の放送を視聴する場合、この操作は不要です。

または **入力切換** を押して表示されたメニューから **▲▼** ボタンを押して「地デジ」「BS」「CS」から視聴したい放送を選び、決定します。

チャンネルを切り換える

- 以下の三通りの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** で選局します(下の「お知らせ」をご覧ください)

※BSデジタル放送やCSデジタル放送の視聴には専用アンテナの設置とアンテナケーブルの接続が必要になります。

チャンネルボタンで選局する(順次選局)

- **↑** / **↓** でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

チャンネル番号は番組表で確認できます。

リモコンの「3桁入力」ボタンを押すと、画面右上に3桁入力の表示がでます。

番組表で確認した数字を **1** ~ **10/0** で入力します。

例:103チャンネルを選択する場合 **1** **10/0** **3** を入力します。(0は **10/0** で入力します)

地デジ 3桁入力 _ _ _

お知らせ

- **1** ~ **12** でワンタッチ選局ができるのは下記のとおりです。

- ・ **地デジ** を押したとき→「地上スキャン」で各ボタンに登録されたチャンネル
- ・ **BS** を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル
- ・ **CS** を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(**1**と**4**と**5**のみ)

- 番組表のサブチャンネルを表示/非表示にするには番組表画面で **メニュー** を押して「サブチャンネル表示」を選択してください。

● 入力切替メニューを使う

●本機の外部入力端子（HDMI1～3、コンポジットビデオ入力）に接続したDVD・ブルーレイディスクプレーヤー / レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合や、外部入力からテレビ放送、ホーム画面に戻るときに使用するメニューを説明します。



外部入力に切り換える

1 使用する機器の電源を入れる

2 **入力切替** を押す

3 ▲▼で視聴したい項目を選択して決定ボタンを押します。

- ・ Google TV ホーム … スマートテレビのホーム画面に移動します。
- ・ 地デジ … 地上デジタル放送を視聴します。
- ・ BS … BS デジタル放送を視聴します。
- ・ CS … 110度CS デジタル放送を視聴します。
- ・ コンポジット … AV 入力（アナログ入力）を視聴します。
- ・ HDMI1～HDMI3 … HDMI 入力を視聴します。接続機器によって、名称が変化することがあります。

4 選択した機器を操作する

●機器のリモコンで再生などの操作をしてください。

設定メニュー

外部入力表示中 **メニュー** ボタンを押すとサブメニューが表示されます。

◆ソース

視聴する入力を変更できます。

◆画像

画像設定（映像設定）が表示されます。

◆画面

画面設定（画面サイズ設定）が表示されます。

◆サウンド

音設定（音声設定）が表示されます。

◆電源

電源設定が表示されます。

◆保護者による使用制限

外部入力の視聴制限を設定できます。

◆詳細なオプション

詳細な設定を変更できます。

・ブルーミュート

映像が入力されていない時にブルースクリーンを表示します。

・無信号パワーオフ

信号が入力されていない時に一定時間経過すると電源が切れます。

・オープンソースライセンス

LiveTVアプリの使用ライセンスが表示されます。

◆設定

システム設定が表示されます。



- HDMI1～3は解像度4K UHD(3840×2160)まで対応しています。
- 対応している入力信号であっても映像が表示されなかったり、正しく表示されない場合があります。
- パソコンと接続する場合のリフレッシュレートは60Hzを推奨します。
- ARC対応機器との接続には、HDMI3をご使用ください。

HDR(ハイダイナミックレンジ)機能について

HDR(ハイダイナミックレンジ)対応機器から、HDR10規格の映像が入力された場合、自動的にHDRモードに切り換わります。



HDR対応機器との接続には、18Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブルを使用してください。

HDRモードに切り換わると画面左上に「HDR」と表示されます。

HDR



- ケーブルや機器の相性により、HDRに切り換えない場合があります。

● 便利な機能を使う

音声・字幕・映像を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。

- 1 **音声切換** を押す。
- 2 ▲▼で選択したい音声を選択し、決定ボタンを押します。



- 受信している番組によって、表示内容は異なります。

字幕を切り換える

- 1 **字幕** を押す
- 2 ▲▼で選択したい字幕を選択し、決定ボタンを押します。



- 字幕
「オン」や日本語を選ぶと字幕放送があれば、字幕が表示されます。
▲▼でオン/オフを選択し、決定ボタンを押します。

- 文字スーパー表示
文字スーパー表示を選択し、決定ボタンを押すたびに表示/非表示します。

- ※字幕がない、または選択した言語の字幕がない場合、「字幕表示」を「オン」に設定しても字幕は表示されません。文字スーパーも同様です。
- ※文字スーパーは、緊急警報時など、表示を「オフ」に設定していても、無条件に表示します。これは緊急性の高い情報を表示するためです。

映像・音声・字幕を切り換える

デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、字幕がある場合があります、お好みで選択することができます。

- 1 **メニュー** を押し、▲▼で「視聴設定」を選択し決定ボタンを押します。
- 2 切り替えたい項目を▲▼で選び、決定ボタンを押します。
 - ・字幕 … 字幕表示を切り換えます
 - ・映像切換 … 映像を切り換えます
 - ・音声切換 … 音声を切り換えます
 - ・オーバースキャン … オーバースキャン（ノイズの入りやすい映像外縁部をカットして表示する機能）を切り換えます。
 - ・ラジオ・データ表示 … チャンネルリストや番組表にラジオ、データ放送を表示するか切り換えます。
 - ・画面表示常時表示 … チャンネル表示を常時表示するか切り換えます。

- 3 視聴したい字幕、音声、映像を▲▼で選び、決定ボタンを押します。
 - 字幕、音声切換はリモコンのボタンから設定できる項目と共通です。

チャンネル情報を表示する

画面表示 を押すと、現在視聴中の放送の種類・チャンネル番号・映像情報などが表示されます。

- 1 **画面表示** を押すと画面右上にチャンネル除法が表示されます。



- 2 もう一度 **画面表示** を押すと表示が消えます。

消音する

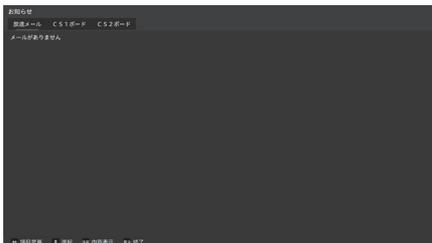
- 1 **消音** を押すと、消音状態になります。
- 2 消音状態を解除するには、もう一度 **消音** を押すか、**+** を押してください。



● 便利な機能を使う (つづき)

お知らせ

- 1 **メニュー** を押し、**▲▼** で「本体情報」⇒「お知らせ」の順に選択し、決定ボタンを押します。



- 2 **◀▶** でお知らせの種類【放送メール】【CS1ボード】【CS2ボード】を選び決定ボタンを押します。

- 3 **▲▼** で読みたいお知らせを選び、決定ボタンを押します。

- 4 **←** で終了します。
戻る

- ・ 放送メール
放送局からのお知らせを確認できます。
- ・ CS1ボード/CS2ボード
CS事業者からのメッセージを確認できます。

画面サイズを変える

視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

- 1 **⚙** を押し、**▲▼** で「設定」⇒「ディスプレイとサウンド」⇒「画面」の順に選択し、決定ボタンを押します。

- 2 お好みの画面サイズを**▲▼** で選び決定ボタンを押します。

- ※テレビ番組などのソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見え方が異なります。
- ※外部入力の場合に合わせて切り換えてください。

節電設定

- 1 **⚙** を押し、**▲▼** で「設定」⇒「システム」⇒「電源と節電の設定」の順に選択し、決定ボタンを押します。

- 2 **▲▼◀▶** と決定ボタンで各項目の選択/設定をします。

●電源オン時の画面

テレビの画面がオンになった時の動作を設定します。

▲▼ で選択し、決定ボタンを押します。

●電源と節電設定

テレビを自動的にOFFにする

映像を視聴していない状態で無操作のまま設定した時間が経過後、スタンバイになります。

●電源

①スリープタイマー

スリープタイマーを設定後、設定した時間が経過後、スタンバイになります。

※スリープタイマーは1回スタンバイになると設定が「オフ」になります。

※スリープタイマーは動作前にメッセージが表示されます。任意のボタンを押してキャンセルします。

②画面OFF

項目を選択すると画面が消灯します。任意のボタンを押して復帰します。

③スイッチOFFタイマー

指定した時間経過後、電源がオフになります。

※タイマー動作後、設定は維持されます。

※任意のボタンを押してのキャンセルはできません。設定をオフに変更してください。

④自動スリープ

一定時間無操作のまま経過すると、スタンバイになります。

⑤スタンバイライト

スタンバイLEDを点灯するか設定します。

●タイマー

①オンタイマー

オンタイマーの設定をOFF,ON,1回から選択します。

1回に設定するとオンタイマー動作後、設定がOFFになります。

②オンタイマーの時刻

オンタイマーの動作時刻を設定します。

③オフタイマー

オフタイマーの設定をOFF,ON,1回から選択します。

1回に設定するとオフタイマー動作後、設定がOFFになります。

④オフタイマーの時刻

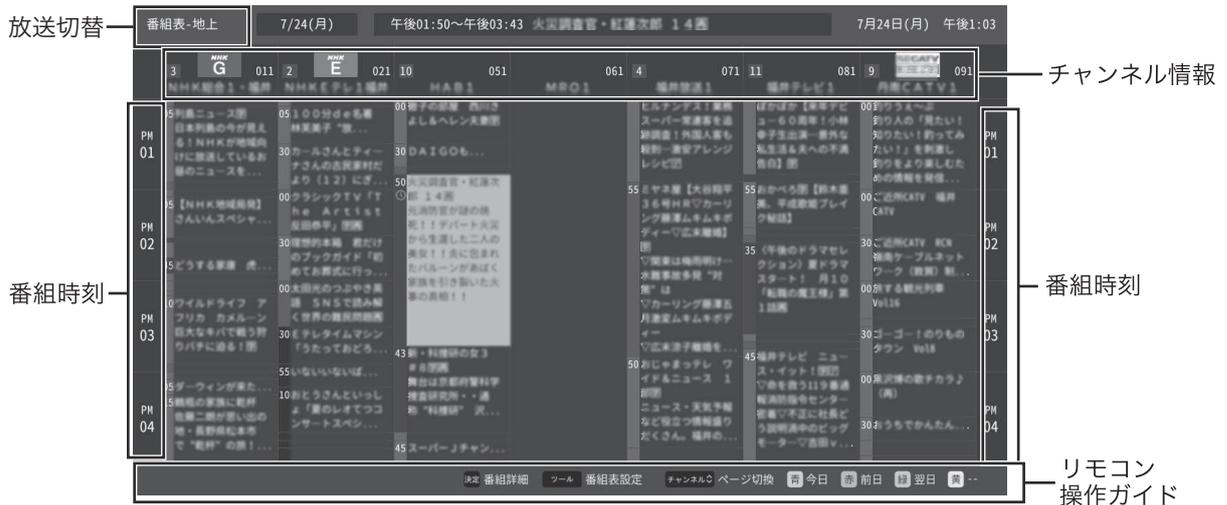
オフタイマーの動作時刻を設定します。

番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報を元に、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見る事ができます。

番組表を操作する

- 1 放送視聴中に番組表を押します。
 視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。
 放送の種類を変更するには **地デジ** **BS** **CS** のいずれかを押します。

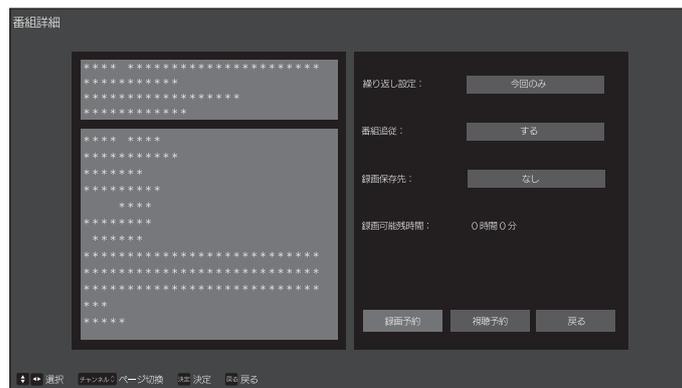


- ・番組表は当日から8日間分表示されます。前日に戻るには **赤** 今日に戻るには **青** を押します。翌日の番組表を表示するには **緑** を押します。
 - ・表示を消すには、再度 **番組表** を押します。
 - ・番組情報の取得には表示されるまで時間がかかったり、情報が取得できないことがあります。
- ※初回使用の時、あるいは電源を長時間(一週間以上)切っていた場合、完全表示されるまで時間がかかりますのでご注意ください。



- 番組表の操作について、詳しくは画面下部に表示されている操作ガイドを参照してください。
- 「ー」と表示されているキーは使用しません。

2 ▲▼◀▶で番組を選び、決定ボタンを押すと、番組詳細の画面が表示されます。



- 放送中の番組
録画する→59ページ
選局する→視聴できます
- 未放送の番組
録画予約→59ページ
視聴予約→61ページ
- 放送サービス局を選ぶ
検索実行

3 ツール リモコンのメニューボタンを押します。番組表の設定ができます。

- 番組表設定**
- リモコンのメニューボタン
 - 番組データ取得
 - サブチャンネル表示
 - 表示時間数切換 4h、6h、8h
 - 表示サイズ 小、中、大
 - ジャンルカラー設定
 - 背景カラー設定 ブラック、ホワイト
 - 番組検索 ジャンル、放送、地上、BS、CS

データ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などの独立データ放送があります。
- テレビの設定をする→参照67、68ページ
メニュー・視聴設定・ラジオ・データ表示
ラジオ・データ表示をオンにします。
番組表にデータ放送が表示されます。
3桁の放送チャンネル番号で選局できます。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物したりすることができます。(電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、 を押します。

お知らせ

- 放送データの取得中はボタンを押しても反応しないなど一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などでは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
- データ放送は録画できません。

録画、再生、予約をする

この章では、番組の視聴予約、録画予約、録画した番組の再生について説明しています。
録画予約や録画した番組の再生を行うには USB ハードディスク（別売）が必要です。

	ページ
録画・予約機能について	55
録画用USBハードディスクの接続をする	56
録画機能について	58
録画・予約をする	59
予約・録画の優先順位と予約の動作について	63
録画した番組を再生する	64

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- テレビ背面のUSB（録画用）端子に接続したUSBハードディスクにデジタルテレビ放送番組を録画できます。（データ放送、外部入力（HDMI1～HDMI3、コンポジットビデオ入力）で視聴している動画の映像・音声は録画できません）
 - ・ USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。

接続、設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク	<ul style="list-style-type: none">・ 事前にUSBハードディスクを本機に登録します。・ 使用前にUSBハードディスクの電源を入れておきます。・ USBハードディスクの残量を確認します。 ※ 残量不足や番組数超過になる場合は、事前に不要な番組を削除します。

ハードディスクの推奨仕様

- セルフパワー方式（専用のACアダプタを接続する方式）のUSBハードディスクを接続してください。
- 推奨容量は最大4TBです。



- パソコンや他のテレビなどで使用していたハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて消去されます。
- ハードディスクの動作中に電源を切ったり取り外したりすると、保存した内容の消失やハードディスクの故障のおそれがあります。
- 録画中に停電や電源プラグ、USBケーブルの取り外しが発生した場合、途中までの録画データは保存されません。また、それらのトラブルによる録画データの消失や欠損に対し、保証はいたしかねます。
- 本機の故障または故障による修理、受信障害などによる録画データの消失や欠損などに対し、保証はいたしかねます。
- すべてのUSBハードディスクには対応しておりません。
- 本機で登録したハードディスクは他のテレビでは使用できません。ご使用の際は接続機器で初期化が必要となり、記録されていたデータは消去されます。
- 複数のパーティションに区切られたハードディスクは使用できません。あらかじめパソコンなどで一つのパーティションに初期化したうえでご利用ください。
- USBハードディスクは使用状況によっては数年で故障する可能性があります。テレビに接続したUSBハードディスクは録画した内容の長期保存には適さないため、一時的な保存、再生機能としてご利用ください。

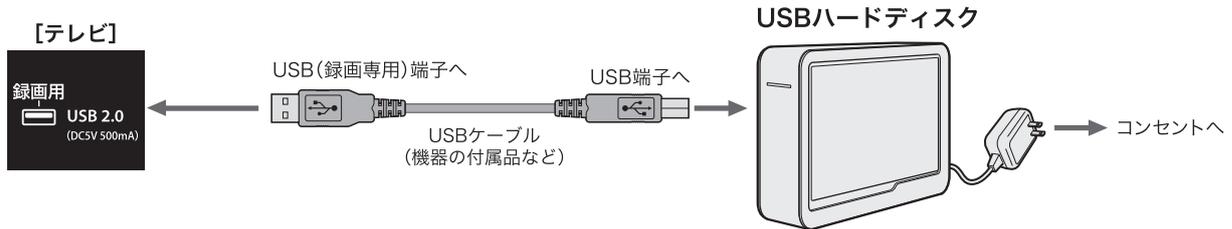
- 本機で録画したデータは、他のパソコンに接続しても視聴できません。また、著作権によりすべての番組は保護されています。一部の番組ではコピーや録画が禁じられています。
- システム領域として数パーセント使用されるため、容量のすべてを録画に使用することはできません。
- 個人による私的利用の範囲を除き、コンテンツ保有者またはサービスプロバイダーから認可されていない方法で録画番組を使用することは禁じられています。いかなる方法または媒体において、録画した番組の修正、複製、再配布、アップロード、投稿、転送または販売は禁じられています。以下の行為は、著作権法で保護されている権利の侵害に当たります。
 - ・ 個人のホームページやSNS、動画投稿サービスへの録画番組の投稿
 - ・ メッセージサービスや電子メール等による他人への録画番組の送信
 - ・ 利益目的で不特定多数の人数への録画メディアを貸し出す
- 著作権法違反は刑事罰に問われる可能性があります。著作権の侵害によるいかなる損害の責任に対し負いかねますので、自己責任のもとご利用ください。

録画用USBハードディスクの接続をする

●テレビにUSBハードディスクを接続し、登録することで、テレビ番組の録画、録画予約、録画したテレビ番組の再生ができます。

USBハードディスクを接続する

- USBハードディスクは専用のACアダプタを接続してご使用ください。
- USBハードディスクはUSB（録画用）端子に接続されたもののみ録画用として動作します。メディア / サービス用に接続されたUSBハードディスクは録画できません。
- 本機には8台までのUSBハードディスクを登録可能です。
- USBハードディスクは、USB（録画用）端子に接続します。



USBハードディスクをテレビに登録する

録画を実行するためには、事前にハードディスクを登録する必要があります。

1 テレビ本体のUSBポートにハードディスクを接続します。

一度も登録されたことのないハードディスクの場合メディア再生画面が先に表示されます。テレビを視聴中の場合、下記USB-HDD登録画面が表示されます。



- ・「はい」を選択すると登録が実行されます。(ハードディスクの状態によって、登録に数分かかる場合があります)
 - ・「いいえ」をクリックすると、登録がキャンセルされます。
- ※登録すると、ハードディスク内のすべてのデータが削除されますので、ご注意ください。

2 登録完了後、画面に「登録しました」というメッセージが表示されます。

3 「終了」を選択して決定ボタンを押し、登録を完了させます。

※ハードディスクの登録は、上記以外にも、**メニュー**を押し、「テレビ設定」⇒「録画機能」⇒「USB-HDD設定」⇒「未登録」「登録」の順でも登録できます。

一部のハードディスクは登録にフォーマット作業を実施する必要があります。

Google OSで認識できないフォーマット形式のHDDの場合

1 「USB-HDD 登録」⇒「ストレージ設定へ」を選択します。



2 「xxx 製USB ドライブ」⇒「デバイスストレージとしてセットアップ」⇒「フォーマット」⇒「後で移動」を選択します。



3 「xxx 製USB ドライブ」を選択⇒「データを削除してリムーバブルストレージとしてフォーマット」⇒「フォーマット」⇒「OK」の順で選択します。

録画用USBハードディスクの接続をする (つづき)



- 4 「USB-HDD 登録」が表示されたら「はい」→「終了」でフォーマットが完了になります。

2TBを超えるNTFSフォーマットされたHDDの場合

- 1 「USB-HDD」の画面が表示されている場合は、を押して画面を閉じます。

- 2 を押し、「xxx 製USB ドライブに関する問題」を選択します。



- 3 「デバイスストレージとしてセットアップ」→「フォーマット」を選択します。

- 4 画面が切り替わったら、を押します。

- 5 「USB-HDD 登録」画面が表示されたら「ストレージ設定へ」→「xxx 製USB ドライブ」を選択します。



- 6 「データを削除してリムーバブルストレージとしてフォーマット」→「フォーマット」→「OK」の順で選択します。

- 7 「USB-HDD 登録」が表示されたら「はい」→「終了」でフォーマットが完了になります。

USBハードディスクの設定をする

を押し、「録画機能」→「USB-HDD設定」を選ぶとUSBハードディスクの設定ができます。

USB-HDD情報

接続しているハードディスクの情報を確認できます。

- 1 ▲▼で確認したいハードディスクを選び、決定ボタンを押すと詳細なHDD情報が確認できます。

- ・USB-HDD名 … 登録されたハードディスクの名前を表示します。
- ・USB-HDDの状態 … ハードディスクの接続状態を確認できます。
- ・総容量 … ハードディスクの総容量を確認できます。
- ・使用容量 … ハードディスクの使用済の容量が表示されます。
- ・録画可能残時間 … 録画可能な残り時間を表示します。

●使用容量は録画データによる使用量の他、システム領域による録画不可能な容量などをすべて含めた量が表示されるため初期化直後から数%ほど使用済として扱われます。

初期化(HDD初期化)

ハードディスクを初期化し、記録されているすべての内容を削除します。

画面の指示に従い「はい」を選択すると初期化が開始されます。

- 初期化中にハードディスクを取り外したり、電源を落としたりすると故障のおそれがあります。

登録解除(HDD登録解除)

- ハードディスクを8台登録後に新規登録したい場合、未使用の登録済ハードディスクを解除してから再登録します。
- 登録を解除すると、ハードディスクに録画している番組は再生できなくなります。

画面の指示にしたがい「はい」を選択すると登録が解除されます。

取り外し(HDD取り外し処理)

- ハードディスクを取り外す前にこの「取り外し」処理を実行してください。
- この処理を実行する前に取り外した場合、次回使用時に機器の認識に時間が掛かったり、通信中だったデータが欠損することがあります。

「取り外し」を選択後、「安全に取り外しました。」の表示が出るまで待ってからハードディスクを取り外してください。

● 録画機能について

ハードディスクに録画できる番組

番組	録画の可/不可
地上デジタル放送番組	録画できます
BS/110度CSデジタル放送番組	録画できます
外部入力からの映像・音声	録画できません

ご注意

録画できるのは本機で受信した放送番組です。
データ放送やラジオ放送の内容は録画できません。
HDMI端子経由でテレビに接続されている外部機器の映像や音声も記録できません。

ハードディスクの登録

- ハードディスクと本機を接続しておきます。
(56ページ参照)

録画前の準備

- ハードディスクの容量を確認します。
- 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除してください。
(65ページ参照)

ご注意

- 本機に登録していないハードディスクでは録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、39ページを参照し、接続を確認してください。
- 本機では1回につき1チャンネルしか視聴予約できないため、視聴予約の時間帯が重なった視聴予約タスクは実行されません。
- データチャンネル、ラジオ放送、未契約チャンネル(無料番組を除く)の予約・録画には対応していません。
- 予約番組の時刻に主電源が切れていると予約が実行されません。

電源を入れるか、スタンバイ状態をご利用ください。

- 例：
- 停電や電源ケーブルが外れ、電源が途絶えた後やその後電源を入れなおす前
 - 電源ボタンを長押ししシャットダウンした時

録画予約の種類

録画予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	59ページ
番組表から録画予約する	59ページ
録画する日時を指定して録画予約する	60ページ

ご注意

- 録画予約の最大件数は32件、視聴予約の最大件数は16件、合わせて48件になります。
- コピー制限のある番組は録画できません。
- 録画中に、本機やハードディスクの電源をオフ(停電なども含む)にしたり、USBケーブルを抜き差しすると、本機やハードディスクの故障の原因になります。
ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中で録画した番組は残りません。

重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって、録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

録画可能時間の目安

リモコンの **メニュー** を押し、「テレビ設定」⇒「録画機能」⇒「USB-HDD設定」⇒「HDD情報」からハードディスクの残量を確認することができます。録画可能時間は表示される時間よりも少なくなる事があります。

録画・予約をする

見ている番組を録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

1 を押します。

テレビ視聴画面で  を押すと画面上部に下記設定画面が表示されます。



番組表から録画する

番組詳細画面による現在放送中の番組の録画をします。

1 番組表 を押して番組表を開きます。

2 ▲▼◀▶ で録画したい現在放送中の番組を選び、決定ボタンを押して、番組詳細画面を開きます。



3 録画条件を指定した上で、【録画する】を選択し、決定ボタンを押します。

録画する：録画します。

選局する：チャンネルを切り換えます。

戻る：番組表に戻る

※現在放送中の番組情報が受信されていない場合は、ご利用できません。しばらく待ってからやり直してください。

※本機では1回につき1チャンネルしか録画できないため、録画の時間帯が重なった場合、録画タスクは実行されません。

※録画を実行する前に、あらかじめハードディスクを接続・登録してください。

※ハードディスクは市販の録画専用のものをご使用ください。

※データチャンネル、ラジオ放送、未契約チャンネル(無料番組を除く)の予約・録画には対応していません。

※ハードディスクの容量が不足した場合、録画や予約が実行されなかったり、途中で停止してしまったりするので、事前にチェックすることを推奨します。

※本機の「番組追従」録画機能を使用すると、予約した番組の最後まで、自動で録画時間を延長して録画されます。

※録画実行中に停止させたい場合、テレビ視聴画面で  を押して画面指示に従って操作してください。

番組表による録画予約

1 番組表 を押して番組表を開きます。

2 ▲▼◀▶ で録画したい未放送の番組を選び、決定ボタンを押して番組詳細画面を開きます。



3 録画条件を指定した上で、【録画予約】を選択し、決定ボタンを押します。

※番組情報が受信されていない場合はご利用できません。しばらく経ってからやり直してください。

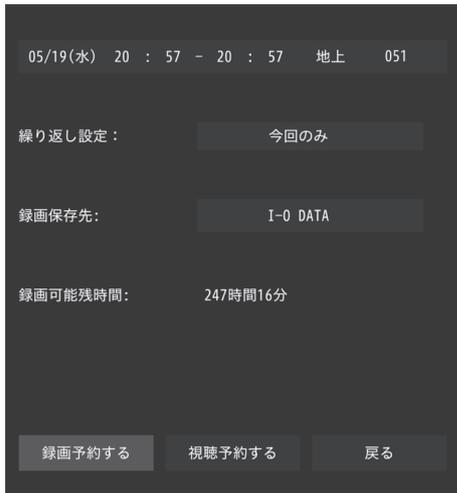
※視聴予約されている番組を録画予約することはできません。

録画・予約をする (つづき)

録画する日時を指定して録画予約する

1 **メニュー** を押して、「録画機能」⇒「予約リスト」を選び、予約リスト画面を開きます。

2 **青** を押して、新規予約画面を開きます。



3 **▲▼◀▶** で時間や繰り返し設定の予約条件を指定した上、「録画予約」を選択し、決定ボタンを押します。

録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。

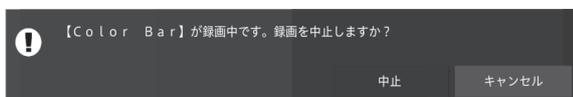
ハードディスクの残量がなくなった場合は、録画が自動的に停止します。

見ている番組を録画中のとき

1 **停止** を押します。
録画を中止するメッセージが表示されます。



2 **▲▼** で録画を停止したいチャンネルを選択し、決定ボタンを押します。



3 **◀▶** で【中止】を選択し、決定ボタンを押します。



4 **◀▶** で【録画リスト】または【確認】を選択し、決定ボタンを押します。

録画・予約をする (つづき)

視聴予約を設定する

- 1 放送視聴中に番組表を押します。
番組表が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶で視聴したい未放送の番組を選び、決定ボタンを押して番組詳細画面を開きます。
- 3 番組説明を確認して、▲で【繰り返し設定】や【番組追従】に移動し、決定ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- 4 ▲▼で選択し、決定ボタンで設定します。

・繰り返し設定： 今回のみ、毎日、毎週、月～木、月～金、月～土

・番組追従： する/しない

- 5 視聴予約を選択し、決定ボタンを押します。
- 6 予約完了画面が表示されます。
番組表の予約した番組ボックスに青い🕒マークが付きます。

※番組情報が受信されていない場合はご利用できません。しばらく経ってからやり直してください。



予約番組の時刻に主電源が切れていると予約が実行されません。

電源を入れるか、スタンバイ状態をご利用ください。

- 例：・ 停電や電源ケーブルが外れ、電源が途絶えた後やその後電源を入れなおす前
・ 電源ボタンを長押ししシャットダウンした時

視聴予約を変更する

- 1 予約した番組を選び、決定ボタンを押します。
- 2 ▲で繰り返し設定や番組追従に移動し、▼▲と決定ボタンで設定を変更してください。
- 3 【変更して予約】を選択し、決定ボタンを押すと、「この番組を視聴予約しました」と表示され、変更を完了します。
番組表の予約した番組のボックスに青い🕒マークが付きます。

視聴予約を取り消す

- 1 予約した番組を選び決定ボタンを押します。
- 2 ◀▶で【予約取消】を選択して決定ボタンを押します。
- 3 「選択した予約を削除しますか」という確認メッセージが表示されますので、【確認】を選ぶと、当該予約が削除されます。
【キャンセル】を選ぶと削除を取りやめます。
番組表の予約した番組のボックスに青い🕒マークが消えます。

録画・予約をする (つづき)

時間指定視聴予約

- 1 番組視聴中に **メニュー** を押して、「録画機能」⇒「予約リスト」を選び、予約リストを開きます。



- 2 **青** を押して、新規予約画面を開きます。



- 3 **▲▼◀▶** と決定ボタンで時間や繰り返し設定の予約条件を指定した上で、「視聴予約する」を選択し、決定ボタンを押します。

● 予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

録画を中止するとき

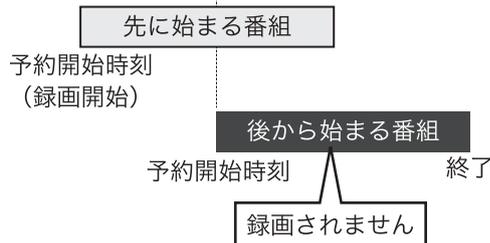
- 予約録画と現在番組の録画などが重なった場合、予約録画が優先され、現在番組の録画は正しく保存されません。



予約時間の一部が重なっているとき

- 予約録画が重なった場合、後から始まる番組の予約は実行されません。

予約開始時刻の早い番組を優先



- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約15秒が録画されません。



予約の動作について

予約番組の時刻に主電源が切れていると予約が実行されません。

電源を入れるか、スタンバイ状態(電源を入れると数秒で起動する状態)でご利用ください。

予約が実行されない例:

- ・ 停電や電源ケーブルが外れ、電源が途絶えた後やその後電源を入れなおす前
- ・ 電源ボタンを長押ししシャットダウンした時

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

予約した番組放送が始まる時

- 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。

予約した番組の放送中

- 予約録画した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 予約録画した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って現在番組の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- テレビを通常通りに使用できます。

録画した番組を再生する

録画番組を再生する

USBハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作

- 1 **録画リスト** を押します。録画リストが表示されます。
- 2 **▲▼**で「すべて」「未視聴」「視聴済」などに移動することができます。



- 3 **▲▼◀▶**で見たい番組を選択し、決定ボタンを押すと再生が始まります。

- ・ 選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります)
- ・ 番組の最後まで再生が終わると、録画リストに戻ります。
- ・ 再生中にできるリモコン操作は以下の通り。

ボタン	内容
再生 	一時停止や早送り/早戻し再生から通常再生に戻ります。 テレビ番組の視聴中に押すと、録画一覧が表示されます。
一時停止 	再生中に押すと一時停止になります。
停止 	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
早戻し 	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
早送り 	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
前 	前のチャプターまでスキップします。
次 	次のチャプターまでスキップします。

※録画中の番組を再生する場合には、正しく動作しないことがあります。

※番組によっては一時停止やスキップなどの操作により、映像や音声为正しく再生されない場合があります。

- 4 再生を停止させるには、**停止** を押します。

- ・ 録画リスト画面に戻ります。
- ・ 録画リスト画面で **戻る** を押すと、テレビ視聴画面に戻ります。



●電源を入れた直後はUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画リストが開かない場合があります。その場合、しばらく待ってから再度録画リストを開いてください。

●本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ(同じ形式・型番のテレビも含む)では再生できません。

●USBハードディスクに録画した番組を再生中に、本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、(停電なども含む)、USBケーブルを抜き差しすると、本機やUSBハードディスクの故障の原因になります。USBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

録画した番組を再生する (つづき)

オートチャプター設定

録画した番組にチャプターマークを付ける設定ができます。本機のオートチャプター機能のデフォルト設定は「10分」です。以下の手順で本設定を変更します。

- 1 **メニュー** を押して、「録画機能」⇒「オートチャプター設定」を選び、オートチャプター設定画面を開きます。



- 2 時間間隔を選び、決定ボタンを押します。
- 3 設定が終わったら、**戻る** で設定を完了させます。

録画した番組を削除する

- 1 **録画リスト** を押します。
録画リストが表示されます。
- 2 **▲▼** で削除する番組を選び、**赤** を押します。
確認メッセージが表示されます。「確認」を選ぶと、当該録画データが削除されます。「キャンセル」を選ぶと、削除を取りやめます。

※一度削除されたデータは取り戻せないため、ご注意ください。



録画リストについて

- ・ 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまで少し時間がかかります。

設定

この章では設定メニューを使つての設定・操作方法についてご説明いたします。

	ページ
テレビの設定をする	67
本体の設定をする	71

● テレビの設定をする

テレビ設定

- 1 地デジ、BS/CS 視聴モードで **メニュー** を押すと、下記テレビ設定画面が表示されま



- 2 ▲▼で設定したい項目を選択し、決定ボタンを押します。

視聴設定

字幕

字幕放送対応の番組の場合、字幕を表示することができます。

- 1 **メニュー** を押して、「視聴設定」を選択し、決定ボタンを押すと、下記画面が表示されます。



- 2 「字幕」を選択し、決定ボタンを押すと、下記画面が表示されます。



- 3 ▲▼で選択したい項目を選び、決定ボタンを押します。

・字幕

「オン」を選ぶと字幕放送があれば、字幕が表示されます。

▲▼でオン/オフを選択し、決定ボタンを押します。

・文字スーパー

文字スーパー表示を選択し、決定ボタンを押すたびに表示/非表示をします。

※字幕がない場合、または選択した言語の字幕がない場合、「字幕表示」を「オン」に設定しても字幕が表示されません。文字スーパーも同様です。

※文字スーパーは、緊急事態などには、表示を「オフ」に設定していても、無条件に表示されます。これは緊急性の高い情報を表示するためです。

映像切換

- 1 **メニュー** を押し、「視聴設定」⇒「映像切換」の順に選択し、決定ボタンを押します。



- 2 ▲▼で選択し、決定ボタンを押します。

音声切換

- 1 **メニュー** を押し、「視聴設定」⇒「音声切換」の順に選択し、決定ボタンを押します。



- 2 ▲▼で選択し、決定ボタンを押します。

オーバースキャン

- 1 **メニュー** を押し、「視聴設定」⇒「オーバースキャン」の順に選択し、決定ボタンを押します。

「オン」にするとノイズの入りやすい映像外縁部をカットして表示します。

テレビの設定をする (つづき)

ラジオ・データ表示

チャンネルリストや番組表にラジオ・データ放送を表す機能を切り換えます。

画面表示常時表示

画面表示(チャンネル情報表示)を常時表示するか切り換えます。

録画機能

録画リスト

録画リストが表示されます。詳細は45ページを参照してください。

予約リスト

予約リストが表示されます。詳細は43ページを参照してください。

USB-HDD設定

HDD登録、状態、容量などを確認することができます。詳細は39~40ページを参照してください。

オートチャプター設定

録画した番組にチャプターマークを付ける設定ができます。詳細は46ページを参照してください。

機能設定

信号レベル

放送電波の受信状態を確認することができます。

- 1 **メニュー** を押し、「機能設定」⇒「信号レベル」の順に選択し決定ボタンを押します。
- 2 レベルを確認したい放送種別を「地上」「BS」「CS」から、受信したい放送局を物理チャンネル(例:「UHF」「UHF 27ch」)選択します。

チャンネル番号設定

おこのみのチャンネルを数字キーに割り当てることができます。

- 1 **メニュー** を押し、「機能設定」⇒「チャンネル番号設定」の順に選択し決定ボタンを押します。
- 2 レベルを確認したい放送種別を「地上」「BS」「CS」から、変更したいチャンネルを選び、ボタンを割り当てます。

チャンネルスキップ設定

チャンネル上下キーで移動する際にスキップするチャンネルを設定できます。

- 1 **メニュー** を押し、「機能設定」⇒「チャンネルスキップ設定」の順に選択し決定ボタンを押します。
- 2 スキップしたい放送種別を「地上」「BS」「CS」から、変更したいチャンネルを選び、「する」「しない」を割り当てます。

暗証番号設定

暗証番号を設定することによって放送視聴制限を設定することができます。

- 1 **メニュー** を押し、「機能設定」⇒「暗証番号設定」の順に選択し決定ボタンを押します。
- 2 暗証番号入力画面を開きます。**10/0** ~ **9** で現在設定されている暗証番号(4桁)を入力します。
- 3 正しい暗証番号が入力されると、暗証番号設定画面に入ります。(入力を間違えた場合、再入力してください)
- 4 「暗証番号の変更」を選び、決定ボタンを押して、暗証番号入力画面を開きます。
- 5 **10/0** ~ **9** で古い暗証番号を入力します。**10/0** ~ **9** で新しい暗証番号を入力します。
- 6 **10/0** ~ **9** で新しい暗証番号を再入力します。(再入力を間違えた場合、手順4からやり直してください)

- 7 正しく変更された場合、暗証番号入力画面が自動的に閉じられます。

※手順6までの入力途中に **戻る** を押した場合は入力情報が保存されません。

※入力した数字は、画面には「*」で表示されます。

※設定した暗証番号は忘れないようにメモに取って保存してください。

テレビの設定をする (つづき)

視聴制限設定

デジタル放送では、番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。

- 1 **メニュー** を押し、「機能設定」⇒「視聴制限設定」を選び、決定ボタンを押します。



- ・ 暗証番号を一度も設定したことがない場合、新しい暗証番号入力画面が表示されます。このとき、「暗証番号設定」⇒「暗証番号の新規設定」の手順に従って暗証番号を設定してください。
- ・ 暗証番号が設定済みの場合、暗証番号入力画面が表示されます。

- 2 **10/0** ~ **9** で暗証番号(4桁)を入力します。

- 3 正しい暗証番号が入力されると、視聴制限設定画面が表示されます。(入力を間違えた場合、再入力してください)

- 4 決定ボタンを1回押して、視聴制限をスライドスイッチをオンにすると(スイッチの色は灰色から青へ)、制限年齢が選べるようになります。

- 5 「視聴可能年齢」を選び、決定ボタンを押すと、年齢設定画面が表示されます。

- 6 ▲▼で年齢を選び、決定ボタンを押します。

- 7 **戻る** で視聴制限設定画面を閉じます。

※本機能を有効にした場合、視聴許可年齢制限の設定された番組を受信すると、暗証番号入力画面が表示されます。正しい暗証番号を入力すると、当該番組の視聴制限を解除する事ができます。

無信号オートパワーオフ

放送や外部入力の信号が無い場合、一定時間経過するとスタンバイになります。

- 1 **メニュー** を押し、「機能設定」⇒「無信号オートパワーオフ」の順に選択し決定ボタンを押します。

- 2 スタンバイになるまでの時間を選び、決定ボタンを押します。

ハイブリッドキャスト機能

NHKのインターネットと放送を融合させたサービスが視聴できます。

- 1 **メニュー** を押し、「機能設定」⇒「ハイブリッドキャスト機能」の順に選択決定ボタンを押します。

テレビの設定をする (つづき)

本体情報

お知らせ

本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。未読のお知らせがあると、チャンネル切替時や画面表示を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

- 1 **メニュー** を押し、「本体情報」⇒「お知らせ」を選び、決定ボタンを押します。



- 2 **左右** でお知らせの種類を選び、決定ボタンを押します。

- 3 **上下** で読みたいお知らせのタイトルを選び、決定ボタンを押すと、お知らせ内容が表示されます。

- 4 **戻る** でお知らせ画面を閉じます。

・放送メール

放送局からのお知らせを確認できます。

・CS1ボード/CS2ボード

CS放送の事業者からのメッセージを確認できます。

個人情報初期化

リセットすると、設定した項目をお買い上げ時の設定(工場出荷時)に戻します。

※テレビ関連の設定のみ消去されます。

※USBハードディスクの登録情報は消去されません。

※録画中は初期化できません。

- 1 **メニュー** を押し、「本体情報」⇒「個人情報初期化」を選び、決定ボタンを押して、個人情報リセット画面を開きます。

- 2 **上下** で「はい」または「いいえ」を選択し、決定ボタンを押します。

- 3 初期化が完了すると、初回セットアップ時の郵便番号入力画面が表示され、初期設定へ移行します。

ソフトウェア情報

本体情報、BCAS情報、ライセンス情報を確認することができます。



- 1 **上下** で項目を選択して、決定ボタンを押して内容を確認します。

● 本体の設定をする

設定画面

1  を押し、決定ボタンを押すと本機全般の設定をすることができます。

※アップデートにより項目や項目名、機能などが変更されることがあります。

●視聴中の入力や、設定状況により項目が固定され変更できないことがあります。

チャンネルと入力

チャンネル

テレビ受信のための設定が表示されます。初回セットアップ時に入力した項目を変更できます。

◆郵便番号設定

データ放送で使用する郵便番号を変更できます。

◆地域

地上デジタル放送のスキャン時に使用する地域設定を変更できます。

◆地上スキャン

地上デジタル放送のチャンネルスキャンをします。

「初期スキャン」… 受信可能なすべてのチャンネルを設定しなおします。

「再スキャン」… 追加、変更があったチャンネルを設定しなおします。

「全帯域」… オンに設定すると、通常のUHF帯の他VHF帯、CATV用のチャンネルを含めてスキャンします。

◆地上アッテネータ

電波強度が強すぎる時に使用するアッテネータの設定をします。

◆BS/CSアンテナ電源

BS/CSアンテナ用の電源供給を行うか設定します。

入力(外部入力)

外部入力の様々な機能を設定できます。

◆デバイス名の設定

入力切り換え時の画面に表示される機器名を(DVD、ブルーレイなど)を変更できます。表示・非表示(スキップ)も設定できます。

◆HDMI制御

外部接続機器との機器連動機能をオン/オフします。

●「デバイスの自動電源オフ」、「テレビの自動電源オン」の設定は、「HDMI制御」が「オン」に設定されている場合のみ利用できます。

◆デバイスの自動電源オフ

機能をオンにすると、テレビのリモコンを切ると、すべての外部接続機器が自動的に待機モードになります。

◆テレビの自動電源オン

機能をオンにすると、接続機器のリモコンで外部機器(DVDなど)の電源を入れたとき、テレビの電源が自動的にオンになります。

◆HDMI EDIDバージョン

HDMI EDIDバージョンの設定をします。

●映像が出ない場合、「EDID 1.4」に変更してください。

●HDR映像を表示する場合「EDID 2.0」または「EDID 2.1」に変更してください。

◆CECデバイスリスト

CECデバイスリストを確認することができます。

ディスプレイとサウンド

映像と音声の設定をします。

画像

映像の設定ができます。

◆画像モード

視聴する映像に合わせて画質設定します。

ユーザー/標準/ビビッド/スポーツ/映画/ゲーム/省エネ

◆バックライト

画面の輝度を変更できます。

◆明るさ

映像の明るさを調整できます。

◆コントラスト

映像のコントラストを調整できます。

◆彩度

映像の彩度(色の濃さ)を調整できます。

◆色調

映像の色合いを調整できます。

◆シャープネス

映像の鮮明度を調整できます。

◆詳細設定

色温度やノイズリダクションなど詳細な項目を変更できます。

◆デフォルトに戻す

すべての映像設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

● 本体の設定をする (つづき)

画面

画面サイズを調整できます。
視聴している映像(放送・外部入力)により項目が変わります。

サウンド(音声)

音声の設定をします。

◆サウンドスタイル

視聴する映像に合わせて音声設定します。
ユーザー/標準/ビビッド/スポーツ/映画/音楽/ニュース

◆バランス

音の左右バランスを調整できます。

◆低音

低音の量を調整できます。

◆高音

高音の量を調整できます。

◆サラウンド音声

ステレオ音声を更に広がりのある音声(サラウンド音声)に変更するか設定します。

◆イコライザーの詳細

各周波数帯の量を調整できます。

◆スピーカー

テレビ本体のスピーカーを使用するか設定します。

◆スピーカーの遅延

テレビ本体のスピーカーの音声を遅らせて出力できます。

◆音量の自動調整

音量を自動調整するか設定します。

◆ダウンミックスモード

マルチチャンネルサラウンド音声が入力された際に、ステレオ音声を出力するか、サラウンド音声を出力するか設定します。

◆ダイアログエンハンサー

セリフやボーカルの声を聞き取りやすくします。

◆デフォルトに戻す

すべての音声設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

オーディオ出力

◆デジタル出力

デジタルオーディオ出力から出力する音声を設定します。
通常は「PCM」を選択し、接続する機器に合わせて設定変更してください。MPEG-2AACデコーダーやAACデコーダーに接続する場合は「自動」に設定します。
自動/バイパス/PCM/ドルビーデジタルプラス/ドルビーデジタル

◆デジタル出力の遅延

光デジタル端子の遅延時間を設定します。

● 本体の設定をする (つづき)

ネットワークとインターネット設定

- このテレビからインターネットにアクセスするには、インターネットプロバイダと高速ブロードバンドインターネットサービスに別途加入する必要があります。
- 別途用意したワイヤレスネットワーク機器の電源を入れるか、ルーターとテレビの背面にあるLANポートをイーサネットケーブルで接続したら、下記の手順に従ってテレビのネットワーク設定を構築してください。

1 リモコンの  を押します。

2 「設定」⇒「ネットワークとインターネット」の順に選び決定ボタンを押します。

無線ネットワークに接続する

1 ▲▼を押して、「Wi-Fi」を選び、決定ボタンを押して、「オン」を選びます。

2 ▲▼で接続したいネットワークを選び、決定ボタンを押します。

- ・ネットワークにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力するように要求が表示されます。

3 パスワードを要求されたら、▲▼◀▶を押して、画面上のキーボードでパスワードを入力し、決定ボタンを押します。

- ・スクリーンキーボードの使用の詳細は、45ページを参照してください。
- ・一度接続設定を行うと、パスワードなどは保存されます。次回同じネットワークに接続する際に、パスワードを再入力する必要はありません。

◆新しいネットワークを追加

ネットワーク名を手動で入力して、新しいWi-Fiネットワークを追加できます。

◆データセーバー

本製品では使用しません。

◆データ使用量と通知

データ使用量の確認と、設定した量データを使用した際に通知を表示できます。

◆常にスキャン

Google の位置情報サービスや他のアプリにネットワークのスキャンを許可するかどうかが選択できます。有効にすると、Wi-Fiがオフになっていても、テレビは常にワイヤレスネットワークをスキャンします。

- 保存されたワイヤレスネットワークがオンになると、テレビは自動的にネットワークに接続します。

有線ネットワークに接続する

- 有線ネットワークに接続するようにプロキシとIP設定を手動で校正できます。

1 ▲▼を押して、「プロキシ設定」を選び、決定ボタンを押します。

- ・プロキシ設定画面が表示されます。
- ・「手動」を選び、画面上の指示に従って、手動でプロキシホスト名、プロキシポート、プロキシをバイパスを設定します。
- ・HTTPプロキシを使用しない場合は、「使用しない」を選択してください。

2 ▲▼を押して、「IP設定」を選び、決定ボタンを押します。

- ・IP設定画面が表示されます。
- ・自動的に入力して自動更新する場合は、「DHCP」を選択してください。この場合、IPアドレスとDNSサーバーアドレスはルーターまたは他のアクセスポイントによって自動的に取得されます。
- ・自動的に取得できない場合は、「静的」を選び、画面の指示にしたがって、IPアドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックス長、DNS 1、DNS2を手動で設定してください。

復帰の設定

テレビを遠隔で電源オンにできるネットワークを設定できます。

・WoW

無線ネットワークで起動します。

・WoL

LAN(有線)で起動します。

・WoC

クロムキャストで起動します。

本体の設定をする (つづき)

ネットワークに関するお知らせ・用語



■IP アドレス設定および DNS 設定について

- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能 (IP アドレスを自動的に割り当てる機能) が ON のときは、「IP 設定」は「DHCP」「静的」のどちらでも設定できます。通常は「DHCP」を選択します。
- ルーターの DHCP 機能が OFF の場合は、「IP 設定」は「静的」を選択し、手動で入力します。DNS アドレスはプロバイダーから指定されたものを手動で入力します。(プロバイダーによって設定方法が異なるため、詳細はご利用のプロバイダーへ確認し、契約内容に沿った設定をしてください)

■ネットワークに繋がらないときは

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - (1)LAN 端子の接続状態と「通信設定」を確認する
 - ・正しく接続・設定されているかご確認ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)
 - (2)ネットワーク環境の接続確認
 - ・テレビと同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。(ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します)

■PPPoE 設定について

- テレビでは PPPoE の設定はできません。PPPoE はルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)



■IP アドレス

インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例：111.112.xxx.xxx)

■DNS サーバー

ドメイン名 (xxx.co.jp など) を IP アドレスに置き換える機能を持つサーバーで、テレビでは自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定された DNS アドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します (例：111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2 サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられる IP アドレスの範囲を限定するためのものです。(例：255.255.xxx.xxx)

■デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IP アドレスで特定されています。(例：111.112.xxx.xxx)

■プロキシ

HTTP プロキシサーバーからファイアウォールを越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができるものです。指定があるときだけ設定してください。(例：proxy.xxx.xxx.xxx)

■MAC アドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

アカウントとプロフィール

Google TV のアカウントを追加したり、編集したりできます。

- アップデートにより内容が変更されることがあります。

アカウント設定

設定されたアカウント名を選択すると、アカウントの管理ができます。

◆プロフィールのロック

アカウント設定をロックし、無断で編集できないようにします。

◆サービス

ログイン中の Google アカウントでのおすすめコンテンツに使用するアプリケーションを選びます。

一部のサービスは定期購入アカウントが必要となります。

◆コンテンツの設定

映画や番組を評価し、おすすめコンテンツの表示精度を改善することができます。

◆予告編の自動再生

映画や番組の予告編を自動再生するか設定できます。

◆非表示の購入またはレンタルしたコンテンツ

ライブラリ上で特定のコンテンツを非表示にしたい場合、この項目で設定します。

◆支払いと購入

テレビ上でコンテンツ購入時の認証方法を設定できます。

◆Google アシスタント

音声操作の有効・無効を切り替えたり、その他の設定を行えます。

● 本体の設定をする (つづき)

◆アプリ専用モード

おすすめコンテンツや見たいもののリストなどの機能を非表示にします。

◆削除

テレビからアカウントを削除します。

プライバシー

プライバシーにかかわる設定をします。

必要に応じて設定を変更します。

●アップデートにより内容が変更されることがあります。

◆位置情報

・現在のステータス

現在地確認の方法を設定します。

・常にスキャン

WiFi無効時でも、Google の位置情報サービスなどを利用しネットワークをスキャンします。

◆使用状況と診断

デバイス・アプリなどの使用状況データや障害レポートを自動送信するか設定します。

◆広告

・広告IDをリセットする

アプリで使用する新しい広告IDが生成されます。

・広告IDを削除する

広告IDを削除し、パーソナライズ化された広告を表示することができなくなります。

◆Google アシスタント

アカウント設定の「Google アシスタント」と共通です。

◆お支払いとご購入

アカウント設定の「支払いと購入」と共通です。

◆アプリの権限

アプリケーションに割り当てられた権限の確認と設定ができます。

◆特別なアプリアクセス

特別な権限が必要なアプリの確認と設定が出来ます。

◆セキュリティと権限

提供元不明のアプリ (Google Play ストア以外からのアプリケーション) のインストール許可を設定します。

アプリ

テレビ内のアプリケーションを表示、設定します。

必要に応じて各アプリケーションごとに項目を設定します。

●アップデートにより内容が変更されることがあります。

◆開く

アプリケーションを使用します。

◆強制停止

アプリケーションを強制的に終了します。終了の結果、停止したものの以外のアプリの動作に影響がある場合があります。

◆アンインストール

ストアから追加したアプリケーションをアンインストールし、データを削除します。

◆無効にする

アプリの機能が使えなくなります。

◆使用されているストレージ

アプリケーションで使用されているストレージ容量を表示します。

◆データを削除

アプリケーションのすべてのデータを削除します。

◆キャッシュを削除

アプリケーションが使用しているキャッシュファイルを削除します。

◆デフォルトを削除

デフォルトアプリケーション (標準で使用されるアプリ) の設定を削除します。

◆通知

アプリからの重要な情報を知らせます。

◆権限

それぞれのアプリケーションに割り当てられた権限を確認します。

・アプリの権限

すべてのアプリケーションに割り当てられた権限の確認と設定ができます。

・特別なアプリアクセス

特別な権限が必要なアプリの確認と設定ができます。

・セキュリティと権限

提供元不明のアプリ (Google Play ストア以外からのアプリケーション) のインストール許可を設定します。



●出荷時にインストール済のアプリやシステムアプリを強制停止したり削除すると動作が不安定になったり、機能の一部がご利用できなくなることがあります。

● 本体の設定をする (つづき)

Google システム設定

さまざまな Google TV の設定ができます。

●一部のオプションは最新バージョンに更新されることがあります。改めての通知はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

システム

◆デバイス情報

システムアップデート、デバイス名リセット、ステータス、法的情報などを確認することができます。

ネットワーク利用にIPアドレスやMACアドレスの入力が必要な場合、ここで確認できます。

◆日付と時刻

日時を設定します。自動同期するか手動で日付と時刻を設定するか選択できます。24時間形式を設定することもできます。

◆言語

メニュー言語を選択できます。選択したメニュー言語は音声認識言語としても設定されます。

◆キーボード

スクリーンキーボードの設定をします。

キーボードにシステム言語を使用するか、キーボードに他のアクティブ言語を使用するか選択できます。

◆ストレージ

テレビメモリの表示、総メモリ、キャッシュの占める容量、アプリケーションの占める容量、画像、ビデオ、オーディオなどが占める容量などが表示されます。

内蔵メモリーが不足してきたときはアプリケーションやキャッシュを削除できます。

◆背景モード

アンビエントモード(背景モード)中に表示するスクリーンセーバーの設定を表示します。

◆電源と省エネ設定

電源オン時の画面や自動スタンバイなど省エネ設定をします。

◆キャスト

キャスト中のメディアを無線ネットワークでつながった他のAndroidスマートフォンで操作できるように設定します。

◆システム音

リモコンのボタンの音を調整します。

◆販売店モード

設定すると、店舗向けのモード(電子POPなど)が有効になります。

◆再起動

テレビを再起動します。

ユーザー補助設定

字幕表示や音声読み上げ機能など、使用の補助となる機能を設定できます。

◆テキスト読み上げ

音声読み上げ機能が利用されるとき音声合成エンジンの設定が可能です。

◆字幕

字幕表示関連の設定が可能です。一部アプリケーションおよびテレビ放送の字幕には反映されません。

◆高コントラストテキスト

表示される文字のコントラストを高くし、文字を視認しやすくなります。一部アプリケーションの文字には反映されません。

リモコンとアクセサリ

Bluetoothの接続と設定ができます。

詳細はP.34『Bluetooth機器を接続する』をご確認ください。

ヘルプとフィードバック

テレビから Google TV のフィードバックを送信できます。

● 本体の設定をする (つづき)

設定を初期化する

すべての設定やソフトウェアを工場出荷時の設定に復元します(すべての設定を初期化します)。



- 初期化は、テレビを他の人に引き渡したい場合、またはテレビ破棄する場合にのみ実行してください。
- 初期化すると、このテレビに記録されているすべての個人情報が消去されます。ここでの個人情報とは、双方向データ通信サービスなどで登録した情報や獲得ポイント、Google アカウント、アプリの設定やデータ、ダウンロードしたすべてのデータを指します。
- 過去にこのテレビで行った、双方向のデータ放送で放送局に登録されている情報や、アプリからコンテンツプロバイダに登録された情報などは消去されません。各サービスを通じてそれらを消去してください。(会員登録や契約の解約、解除など)

リセット

- 1 リモコンの  を押します。
- 2 「設定」⇒「システム」⇒「デバイス情報」⇒「リセット」の順に選び、決定ボタンを押します。
- 3 「出荷時設定リセット」で決定ボタンを押します。
- 4 ▲▼を押して「出荷時設定にリセット」を選択し、決定ボタンを押します。
- 5 ▲▼を押して「すべて消去」を選択し、決定ボタンを押します。

画面の指示に従って操作してください。
この操作後、画面が消えますので「初期設定」画面が表示されるまでテレビの電源を切らないでください。テレビに不具合が発生します。
初期化を中止する場合は「キャンセル」を選択するか、 を押してください。
- 6 テレビは自動的に電源オフになり、再起動後に「Google TV」画面が表示されます。
その後、リモコンから電源をオフにしてください。

その他

この章では、故障かなと思った場合の対処方法や用語の説明など、必要に応じてご参照いただく内容を記載しています。

	ページ
故障かな？と思ったら	79
主な仕様	84
保証とアフターサービス	裏表紙

● 故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください。

- ・アンテナ線や電源コード、その他の接続
- ・入力切換の設定

以下の状態は故障ではありません。

画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するため起こる音です。故障ではなく、性能などにおよぼす悪影響もありません。

デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る

デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するときに、同期信号など白い線が見えることがあります。

豪雨や豪雪のときに、映像が乱れたり、まったく映らなくなったりする

衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、豪雨や豪雪の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映りが悪くなる場合があります。

深夜一時的に映像が映らなくなる

春分の日や秋分の日前後20日程度は、人工衛星が地球の陰に入るため、深夜一時的に映像が見られなくなることがあります。

原因と対策

●全般

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(P.49ページ)
電源が突然切れた / いくつかの間にか切れていた。	スリープタイマーが設定されている。	スリープタイマーをオフにしてください。
	無信号電源オフが働いた。	再度電源を入れてください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き(+-)で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けられない場合があります。カーテンやその他の遮へい物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けられない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

●映像（全般）

問題	原因	対策
色がおかしい / 画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。
画面が一部切れる / 画面が歪む。	画面サイズが適切でない。	【画面】または設定メニューで適切な設定を選んでください。



故障かな？と思ったら（つづき）

●映像（デジタル放送）

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
	アンテナ電源が「切」になっている。	アンテナ電源を「入」に設定してください。
	B-CAS カードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。
地上デジタルの受信設定ができない / 放送を受信できない。	アンテナが適切に接続されていない。	地上デジタルアンテナ入力にアンテナをしっかりと接続してください。
	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
	チャンネル設定をしていない。	チャンネル設定をしてください。(P.71 ページ)
地上デジタルが映らない / 画像が乱れる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	受信レベルが 50 以上になるようにアンテナの位置 / 方向 / 角度を適切に調整してください。(P.25 ページ)
	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をなおしてください。(P.71 ページ)
	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
BS デジタル / 110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(衛星アンテナを直接つないでいる場合)	衛星アンテナがデジタル放送受信に対応していない。	デジタル放送に対応しているアンテナをご利用ください。
	衛星アンテナの前に障害物がある。	障害物を取り除くか、アンテナの取り付け位置を変更してください。
	衛星アンテナに雪が付着している。	雪を取り除いてください。
	衛星アンテナのコネクターの防水が不十分。	防水型のコネクターをご利用ください。
	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。
	衛星アンテナの電源が入っていない。	衛星アンテナの電源は「オン」にしてください。
	衛星アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	適切に調整してください。
BS デジタル / 110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(マンションなどの共同受信システムの場合)	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。
	分波が適切でない。	サテライト U/V 分波器で、VHF/UHF と BS デジタル / 110 度 CS デジタルを分波してください。
BS デジタル / 110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(複数の BS 機器をサテライト分配器でつないでいる場合)	衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチが「オン」になっていない。	「オン」にしてください。
BS デジタル / 110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(その他)	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	指定されたケーブルを使用していない。	指定されたケーブルを使用してください。
	有料チャンネルの受信申し込みが完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BS デジタルは映るのに、110 度 CS デジタルが映らない。	アンテナや分配器、ブースターなどが 110 度 CS デジタルに対応していない。	110 度 CS デジタルに対応したものをお使いください。
	衛星アンテナレベルの設定が不適切。	適切に設定してください。
	受信契約が完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。

故障かな？と思ったら（つづき）

●接続した機器について

問題	原因	対策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(P.49ページ)
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧ください、設定しなおしてください。
パソコンの映像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧ください、設定しなおしてください。
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。

●音声（全般）

問題	原因	対策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない/左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	設定メニューでバランスを調整してください。(P.72ページ)

●音声（デジタル放送）

問題	原因	対策
音声が出ない/音声がおかしい。	主音声/副音声の設定が適切でない。	主音声/副音声の設定をしなおしてください。(P.50ページ)

●音声（接続した機器）

問題	原因	対策
映像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧ください、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。

●番組表

問題	原因	対策
番組表や他チャンネルリストが表示されないチャンネルがある。	一定時間視聴するか、スタンバイにしないと表示されません。	しばらくお待ちいただくか、スタンバイにしてください。
	お住まいの地域が変わった。あるいは前回のチャンネルスキャン後に放送周波数が変更された。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンをしなおしてください。(P.71ページ)
チャンネルスキャンで表示される番組が少ない。	電源を切っている間は、放送局が送信する番組情報を取得できないため。	しばらくお待ちください。
ジャンル検索した番組のジャンルが、番組説明で表示されるジャンルと異なっている。	番組説明ではひとつのジャンルのみが表示されますが、1つの番組が複数のジャンルを持っており、それぞれのジャンルで検索できるためです。	
地上デジタルの放送局のロゴが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

故障かな？と思ったら (つづき)

● USB ハードディスクへの録画や編集について

問題	原因	対策
録画できない。	USB ハードディスクを USB 端子にきちんと接続していない。	USB ハードディスクの接続を確認してください
	接続した USB ハードディスクを登録し、録画用に設定していない。	USB ハードディスクを録画用に設定する必要があります。(※ 56 ページ)
	録画禁止の番組を録画しようとしている。	番組内容でご確認ください。
	USB ハードディスクの残量が少ない。	不要になった番組を消去してください。
	ラジオ放送は録画できない。	番組内容でご確認ください。
録画予約が実行されない。	録画予約した後 録画用に設定した USB ハードディスクを外している。	本体の電源を「切」にしていると録画予約が実行されません。
	本体の電源プラグが抜けている。	録画予約中はリモコンで電源「切」にしてください。
録画番組の一部または、すべてが消えた。	録画や再生中に停電になったり、電源プラグが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、USB ハードディスクが使えなくなる場合があります。	—
データ放送の録画ができない。	本機では録画できません。	—
再生していると途中で映像が乱れたり、ノイズが出たりする。	天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生した場合に発生することがあります。	—
	アスペクト比 (映像の横縦比) や解像度の異なる場面のつなぎ目では、一瞬画像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。	
	番組と番組のつなぎ目部分など、正しい画面が出るまで静止画になったりモザイク状のノイズが出る場合があります。	
	シーンの切り換わりで、映像や音声が切れたりする場合があります。	

●その他

問題	原因	対策
[チャンネル▲]/[チャンネル▼]で選局できない。	お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス(テレビ)内で順送りに選局します。	ラジオ・データ表示設定を確認してください。
	チャンネル登録されてない。	チャンネル登録をしてください。
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外では選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。
ペーパービューなどの有料放送が購入できない。	LAN 回線に適切につながっていない。	ペーパービューの購入には LAN 回線への接続が必要ですので、適切に接続してください。
	LAN 回線の種類などが適切でない。	回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
	購入可能時間以外に購入しようとした。	番組によっては購入可能時間が設定されていますので、購入可能時間内に購入してください。
	購入可能件数を超えている。	購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。
設定が正しく反映されない。	本機に設定が反映 (記録) される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後 (約 2 分以内) に電源プラグをコンセントから抜くと、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしなおしてください。
メニューが表示されない。	入力によっては表示されないメニューもあります。	入力を切り換えてください。
リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てがおかしい。	チャンネル設定の都道府県地域設定が適切でない。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンをしなおしてください。(※ 71 ページ)

故障かな？と思ったら（つづき）

●ネットワーク

問題	原因	対策
ネットワークに繋がらない。	ルーターや接続機器の設定が間違っている。 有線ネットワークと無線ネットワークを同時につないでいる。	ネットワーク機器の設定を確認してください。 ネットワーク機器の設定を確認してください。ネットワーク管理書ネットワークプロバイダにご確認ください。 無線ネットワークを利用する場合は、LANケーブルを取りはずしてください。
ネットワークや動画の読み込みが遅い。	同時に複数のネットワークを使用している。 ルーターや接続機器の設定が間違っている。 無線ネットワークの電波が干渉している。 ネットワークサービスが遅い。	同時利用を減らしたり、使う時間を変更する。 2.4GHzを5GHzに変更することで干渉が軽減することがあります。 コンテンツプロバイダの推奨スピードを確認する。

●アカウント登録

問題	原因	対策
新規アカウント登録の仕方が分からない。		新規アカウントの登録は、各コンテンツプロバイダにお問い合わせください。
作成済のアカウント登録が上手く行かない。	使用したいアカウントIDとパスワードが間違っている。	アカウントIDとパスワードを確認。

●アプリケーション利用

問題	原因	対策
動作が遅い、動かない。	メモリーが満杯になっている。 負荷が重い。	長時間利用後はテレビを再起動する。 軽量のアプリケーションに変更する。
本体メモリーがアプリケーションでいっぱいになった。	内部メモリーが不足している。	アプリケーションを削除するか、入手したコンテンツを外部メモリーに移動する。
アプリケーションの使い方が分からない。		各アプリケーション付属の説明および画面表示を確認してください。

●機器接続

問題	原因	対策
USB機器が接続できない。	USBポートの電力仕様(5V500mA)を超えている。 動作させるドライバが搭載されていない。	仕様値以下の機器を接続してください。 接続機器メーカーにお問い合わせください。
Bluetooth機器が接続できない。	対応していないプロファイルを使用したBluetooth機器を接続している。 2.4GHz帯が混信している。	対応プロファイルは34ページをご確認ください。 無線ネットワークを5GHz帯に変更したり、同時利用機器を減らしてください。
Google Cast機能ができない。	スマートフォンにGoogle Homeがインストールされていない。	Google Homeをインストールしてください。

● 主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

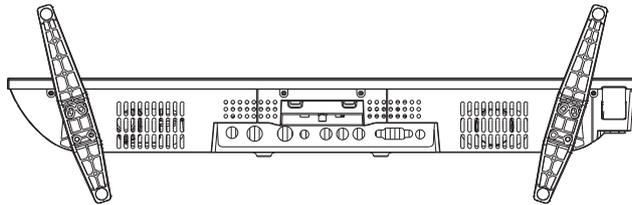
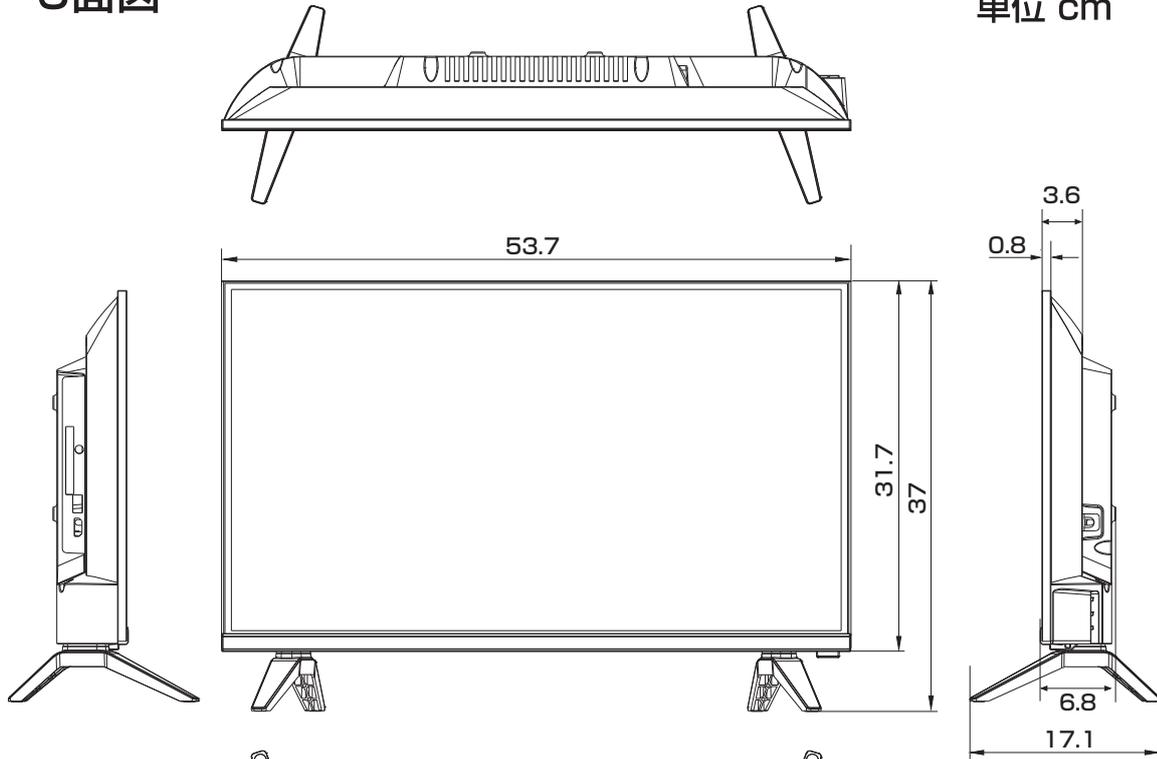
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名		AP245GL
液晶パネル	パネルサイズ	23.6インチ
	解像度	1366 × 768
	色域	16.7百万色(8ビット)
受信放送		ISDB-T/ISDB-S ×2
待機電力		0.3W
消費電力	定格電圧	AC100V 50/60Hz
	定格消費電力	36W
	年間消費電力量 (※)	45kWh/年
スピーカー出力		3W × 2
使用環境		0℃～35℃
壁掛け		VESA 規格 BM4 100 × 100mm 準拠
付属品		①取扱説明書 ②リモコン ③リモコン用電池(単4型)×2 ④ACアダプター ⑤保証書 ⑥miniB-CASカード(赤) ⑦ファーストステップガイド ⑧スタンド×2 ⑨スタンド取り付け用ネジ×4本
入力	ビデオ入力(映像/音声) ×1	
	HDMI 入力×3	
	地上デジタルアンテナ入力 ×1、BS/CSアンテナ入力 ×1	
出力		光デジタル音声出力 ×1、ヘッドホン出力 ×1
その他端子		録画用USB(DC5V 500mA) ×1、マルチメディア用USB×1、LAN ×1、DC端子 ×1

※年間消費電力量とは、省エネ法に基づき、サイズや受信機の種類別の算定式により、1日5.1時間の動作時間、18.9時間の待機時間で算出した、1年間に使用する電力量です。

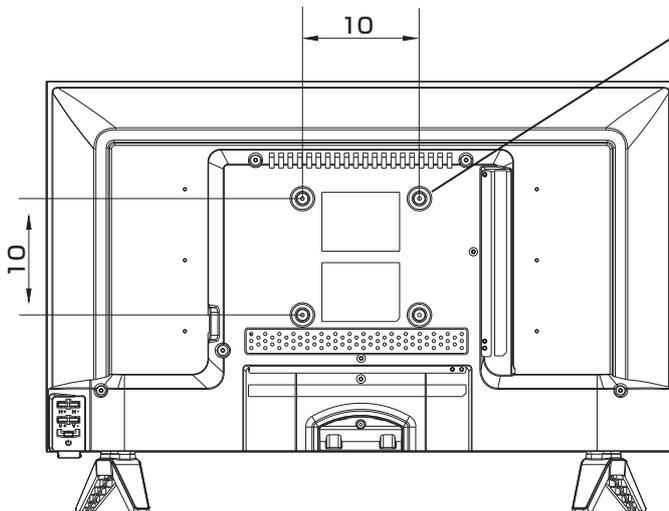
6面図

単位 cm



VESA規格 ねじ穴
4-BM4 深さ 6mm

本体質量 2.3kg



市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

●保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。

修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

【保証期間中の場合】

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。下記のサービス／コールセンターにご連絡ください。

【保証期間を過ぎている場合】

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせは下記のサービス／コールセンターまでお願いいたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 / FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

【製造元】

ダイコーアペックス 株式会社

〒409-0112 山梨県上野原市上野原964

■ **お客サービス / コールセンター**

TEL: 0570-021-051 FAX: 0554-56-8086

営業時間: 10時~17時 営業日: 平日(月~金)、年末年始、夏季休業期間を除く